

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

地理歴史

〔世界史B 日本史B 地理B〕 (各科目)
100点

注意事項

- 1 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。特に、解答用紙の第1解答科目欄・第2解答科目欄にマークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。
- 2 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出題科目	ページ	選 択 方 法
世界史B	4～37	受検できる科目は、受検票に記載されているとおりです。
日本史B	38～67	
地 理 B	68～101	

- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。
- 4 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、10 と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例1)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例1)

解答番号	解 答 欄
10	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

また、「すべて選べ」と指示のある問いに対して、複数解答する場合は、同じ解答番号の解答欄に複数マークしなさい。例えば、20 と表示のある問いに対して①、④と解答する場合は、次の(例2)のように解答番号20の解答欄の①、④にそれぞれマークしなさい。

(例2)

解答番号	解 答 欄
20	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

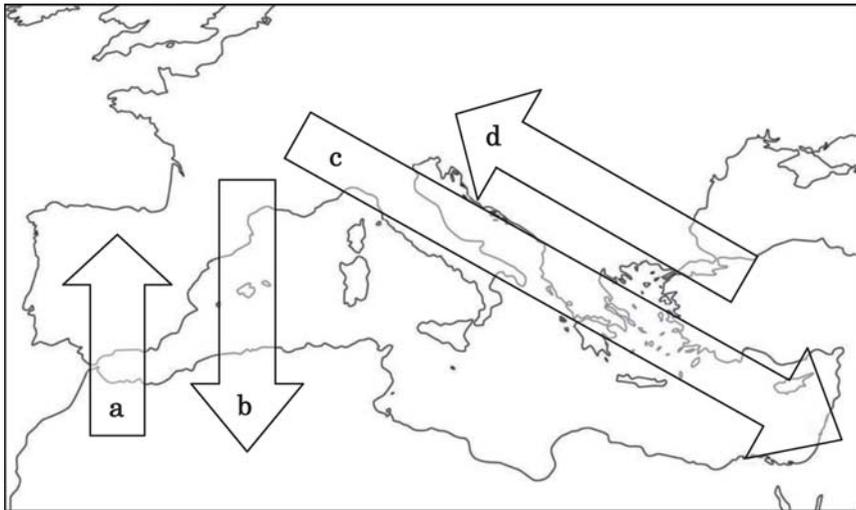
この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。

世界史 B

(解答番号 ~)

第1問 現在の世界の諸地域は、長年にわたる地域間の接触と交流の中で形成されてきた。世界史における接触と交流について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 24)

A 次の地図は、地中海とその周辺地域を表している。この地図中の矢印は、歴史上生じた大規模な人の移動の始点と終点並びに移動の方向を、大まかに描いたものである。矢印aと矢印bは、ヨーロッパと北アフリカとの間の南北方向の移動を、また、矢印cと矢印dは、ヨーロッパと西アジアとの間の東西方向の移動を、それぞれ指している。



問 1 矢印 a または矢印 b が示す人の移動について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 矢印 a は、ノルマン人によるシチリア王国の建国を表している。
- ② 矢印 a は、ウマイヤ朝による西ゴート王国の征服を表している。
- ③ 矢印 b は、ムツソリーニによるエチオピア侵攻を表している。
- ④ 矢印 b は、ド＝ゴールによるアルジェリアの植民地化を表している。

問 2 矢印 c または矢印 d が示す人の移動の事例あ～えと、それについて説明した文 X・Y との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

事 例

- あ 矢印 c — 第 1 回十字軍
- い 矢印 c — 東方植民
- う 矢印 d — フン人の西進
- え 矢印 d — ウィーン包囲

説 明

- X エルベ川以東で、ドイツ騎士団が中心となって行った。
- Y オスマン帝国のスレイマン 1 世が行った。

- ① あ — X
- ② い — Y
- ③ う — X
- ④ え — Y

世界史B

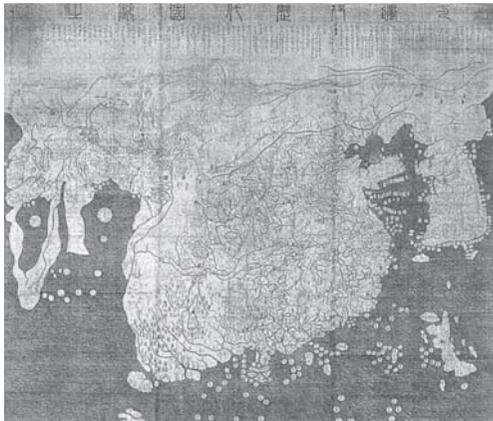
問 3 上の地図で表された地域において接触した可能性がある勢力の組合せとして誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

3

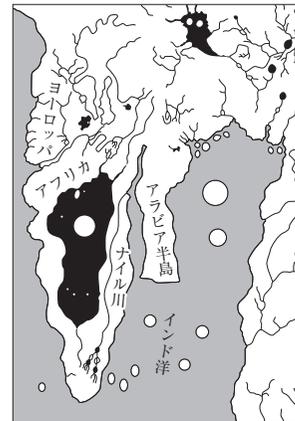
- ① 共和政ローマとカルタゴ
- ② メロヴィング朝とマムルーク朝
- ③ ビザンツ帝国(東ローマ帝国)とヴァンダル王国
- ④ スペイン王国とナスル朝

B 地図1は、朝鮮で作製された『混一疆理歴代国都之図』である。14世紀に中国で作られた2種類の地図を基に、朝鮮半島と日本列島の地図を合わせて、1402年に作製されたと伝えられている。地図1の左端には、参考図に示したように、不正確とはいえ、アラビア半島とアフリカ、それにヨーロッパが描かれている。アフリカの中に描かれている巨大な湖のようなものは、①当時サハラ貿易で栄えていたトンブクトゥのある、ニジェール川流域を描いたものとする説もある。地図1の基となった地図が作られた時代には、アことが知られているように東西交通が活発であり、これらは、そのような交流を通じてもたらされた知識の反映と考えられている。地図2は、地図1から200年後に中国で作製された『坤輿万国全図』である。地図1と比べると、描かれた大陸が実際の形に近づいただけでなく、地図1には描かれなかった大陸が増えていて、その間にイことなどを通して、地理的知識が拡大したことが読み取れる。

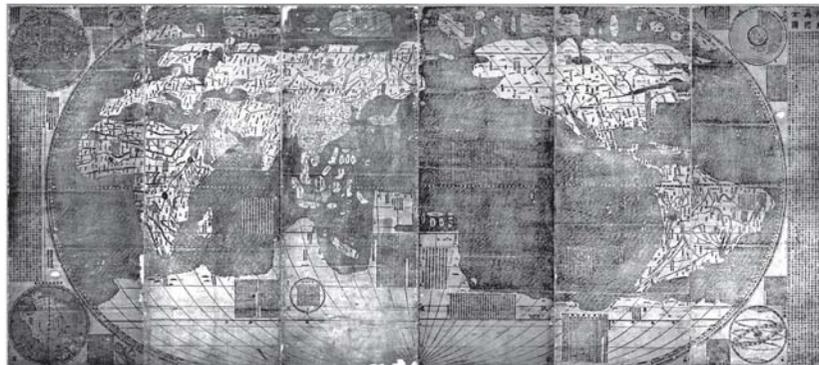
地図1



地図1参考図(部分)



地図2



(この地図は、海岸線が明確になるよう、元の地図に加工を施している。)

世界史B

問 4 下線部①について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 生糸と銀の貿易で栄えた。
- ② 金と塩(岩塩)の貿易が行われた。
- ③ 毛皮と薬用人参が主な貿易品だった。
- ④ 香辛料を求めて、ヨーロッパ人が進出した。

問 5 文章中の空欄 と に入れる文 a～f の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- a ヴァスコ＝ダ＝ガマが、ヨーロッパからのインド航路を開拓した
- b 大秦王安敦の使者とされる者が、東南アジアに到来した
- c アムンゼンが、南極点に到達した
- d イブン＝バットゥータが、アフリカやユーラシアを旅行した
- e クックが、太平洋を探検した
- f マゼランの艦隊が、世界周航を行った

- ① ア－a イ－b
- ② ア－a イ－e
- ③ ア－c イ－b
- ④ ア－c イ－f
- ⑤ ア－d イ－e
- ⑥ ア－d イ－f

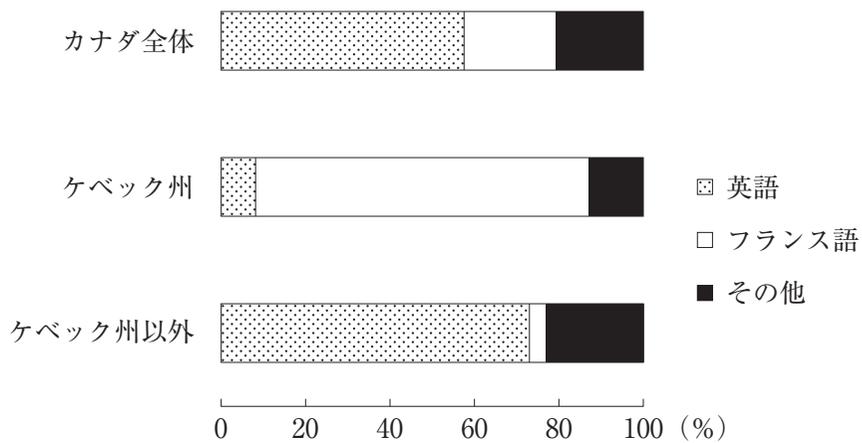
問 6 地図 1 の作製時期と、朝鮮半島の歴史について述べた次の文 a ~ c とが、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、下の①~⑥のうちから一つ選べ。 6

- a 甲午農民戦争が起こった。
- b 樂浪郡が置かれた。
- c 豊臣秀吉が送った軍勢の侵攻を受けた。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ① 地図 1 → a → b → c | ② a → 地図 1 → b → c |
| ③ b → 地図 1 → c → a | ④ a → b → 地図 1 → c |
| ⑤ b → c → 地図 1 → a | ⑥ b → c → a → 地図 1 |

世界史B

C 海外旅行の候補地としてカナダに興味を持った林さんは、カナダでは1969年に制定された公用語法によって、英語とフランス語を公用語とする二言語政策を採っていることを知った。この政策は、ヨーロッパ人による入植以降の北アメリカ大陸の歴史を反映したものであり、近年では外国からの移民の増加に伴って、英語・フランス語以外の言語を第一言語とする人々が増加の傾向にあるという。そこで、林さんは下調べのために図書館へ行き、カナダの言語事情に関する次の資料を見つけて、メモ作りを始めた。



2011年国勢調査で申告された第一言語(母語)の比率

問 7 林さんは、2011年国勢調査における第一言語の比率について、その歴史的な要因を考えて、次のメモ1を作った。メモ1中の空欄 と に入れる文 a～d の組合せとして正しいものを、下の ①～⑧のうちから一つ選べ。

メモ1

- カナダ全体で、第一言語の比率が資料のようになっているのは、
 ことが要因だと考えられる。
- ケベック州で、第一言語の比率が資料のようになっているのは、
 ことが要因だと考えられる。

歴史的な要因

- a 史上初の黒人共和国になるまで、フランスの植民地であった
- b イギリス連邦の成立まで、イギリスに従属する植民地であった
- c ブルボン朝の時代に、フランスの植民地が建設された
- d プラッシーの戦いの結果、イギリスによる支配の基礎が築かれた

- ① ウー a エー b
- ② ウー a エー c
- ③ ウー b エー c
- ④ ウー b エー d
- ⑤ ウー c エー d
- ⑥ ウー c エー a
- ⑦ ウー d エー a
- ⑧ ウー d エー b

世界史B

問 8 林さんは、上の国勢調査でその他の言語を第一言語として申告した人々には、アジア系の移民が多く含まれていることを知った。アジアから北アメリカ大陸への移民に関する次のメモ2中の空欄 と に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

メモ2

アジアからアメリカ合衆国への初期の移民の多くは中国人であり、1860年代の西部での のための労働力需要を支えた。中国人に続いて、日本人の移民も増加した。しかし、新たな移民に対する反感が強まり、1920年代には、人種偏見を背景として、 移民法が制定された。

- | | |
|---------------|------------------|
| ① オー大陸横断鉄道の建設 | カーアジア系の移民を禁止する |
| ② オー大陸横断鉄道の建設 | カー特定の居住地に強制移住させる |
| ③ オーパナマ運河の開削 | カーアジア系の移民を禁止する |
| ④ オーパナマ運河の開削 | カー特定の居住地に強制移住させる |

(下書き用紙)

世界史Bの試験問題は次に続く。

世界史B

第2問 世界史上の政治思想について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 23)

A ギリシア人ポリュビオスは、著書『歴史』の中で、ローマ共和政の国制(政治体制)を優れたものと評価している。彼によれば、その国制には、コンスルという王制的要素、元老院という **ア** 制的要素、民衆という民主制的要素が存在しており、これら三者が互いに協調や牽制^{けんせい}をしあって均衡しているというのである。ローマ人はこの政治体制を誇りとしており、それは、彼らが自らの国家を指して呼んだ「ローマの元老院と民衆」という名称からも読み取ることができる。共和政期末の内戦を勝ち抜いたかに見えた **イ** でさえも、この体制を壊そうとしているという疑いをかけられ、暗殺されてしまった。

こうしたローマ国制についての理解は、以後のローマ人作家を経由して、近世以降のヨーロッパ知識人層にも受け継がれていった。その影響は、モンテスキューらが唱え、アメリカ合衆国憲法をはじめとする近代憲法にも定められている **ウ** という考え方にも見ることができる。

ポリュビオスはまた、ギリシアのポリスの国制についても詳しく述べている。ただし、アテネについては「幾度か繁栄のときを迎え、とくにテミストクレスの活躍と時を同じくして最高度の輝きを放ったけれども、その浮ついた国民性のゆえにたちまち逆境の淵^{ふち}に突き落とされた」と述べ、例外的な存在と位置づけている。

問1 文章中の空欄 **ア** と **イ** に入れる語の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **9**

- ① アー 貴族 イー カエサル
- ② アー 貴族 イー オクタウィアヌス
- ③ アー 僭主 イー カエサル
- ④ アー 僭主 イー オクタウィアヌス

問 2 文章中の空欄 に入れる語句として最も適当なものを、
次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 最大多数の最大幸福
- ② 君主の権力は神によって授けられた
- ③ 立法・司法・行政をそれぞれ異なる機関に委ね、権力の均衡を図る
- ④ 王は君臨すれども統治せず

問 3 ポリュビオスが言う「最高度の輝きを放った」時期のアテネについて説明して
いる文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 国を二分した内戦の中で、奴隷解放宣言が出された。
- ② 市民を債務奴隷にすることが禁じられるとともに、財産政治が導入された。
- ③ 戦車と鉄製の武器を用いて、オリエントを統一した。
- ④ 軍船の漕ぎ手として活躍した下層市民が、政治的発言力を強めた。

世界史B

B 次の文章は、ある日本人の回想録の一節である。(引用文は原文を一部省略したり、改めたりしたところがある。)

当時、清国皇帝は、康有為の意見をいれて鋭意国政の改革をはかり、要路(注1)の旧守派(注2)はこれに反抗の色を示し、北京の政界ようやく不穩の形勢を現じ来たれる時なりしかば、余は先ず香港に至り、ひそかに興中会および三合会中の人に交^{まじわ}りを結んでその形勢を視察し、またフィリピンの志士と交結するの機会を得たり。はじめてポンセ君(注3)と相い^{まみゆ}見るや、彼、テーブルを拍^{たた}いていわく、「君知らずや、さきに **a** の **b** と鬨^{きん}を生ずるや(注4)、我らをして内応せしめて、事^{たいら}平^{たいら}ぐに至らば自主独立を許すを誓う。我らはその言を信じて、命を賭^として戦^{いくさ}えり、自主独立を^{こいねが}希^{ゆえ}うが故なり。しかし **c** は敗走せり、皆おもえらく、自主独立の民たるを得ん、と。いづくんぞ知らん、**d** のために①隷属を強^{つよ}いられんとは。自由のために **e** と戦^{いくさ}いし我らは、今また自由のために **f** と戦^{いくさ}わざるべからざるなり」と。(宮崎滔天『三十三年之夢』)

(注1) 要路——重要な地位

(注2) 旧守派——守旧派に同じ。保守派

(注3) ポンセ君——文中に見える「フィリピンの志士」の一人

(注4) 鬨を生ずる——戦争を始める

問4 文章中の空欄 **a** ~ **f** は、二つの国名によって埋めることができる。その国名の組合せとして正しいものを、次の①~④のうちから一つ選べ。

12

① ロシア 日本

② スペイン 清国

③ 日本 清国

④ アメリカ合衆国 スペイン

問 5 下線部①の「隷属を強いられんとは」という言葉によって、「ポンセ君」が言い表そうとした事態として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

13

- ① 植民地として統治される。
- ② 不平等条約によって、関税自主権などを失う。
- ③ アパルトヘイトによって差別される。
- ④ 大国の委任統治領とされる。

問 6 上の文章から判断して、この回想録の著者である「余」はどのような活動に従事していたと考えられるか。考えられる活動として最も適当なものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。

14

- ① 文章中の「清国皇帝」に協力して、同国の政治改革を阻もうとする活動
- ② 中国や他のアジア諸地域における民族主義を支援する活動
- ③ コミンテルンの指導の下に、社会主義者を組織する活動
- ④ 文章中の「旧守派」と連携して、共和国の樹立を目指す活動

世界史B

C 日本に留学しているスラメットさんが、友人の香織さんに、次の図を見せながら、母国のインドネシアについて説明している。



スラメット：この図は、1950年に制定された「パンチャシラ＝ガルーダ」と呼ばれるインドネシア共和国の国章です。

香織：ガルーダは、ヴィシュヌ神の乗り物とされる神鳥ですね。ガルーダが両足でつかんでいるリボンには、何が書かれているのですか。

スラメット：「多様性の中の統一」という意味で、インドネシアを象徴する言葉です。

香織：なぜ、国章にそのような言葉が使われているのですか。

スラメット：② 現在のインドネシアは、多くの島々から構成されており、たどってきた歴史も多様です。20世紀になると、植民地支配からの独立運動が展開され、インドネシアとしての統合のため「多様性の中の統一」が共通のスローガンとして用いられるようになりました。

香織：ガルーダが身に付けている盾は何を意味しているのですか。

スラメット：パンチャシラという、インドネシアの建国五原則を図案化したものです。例えば、真ん中の星は唯一神への信仰を表しています。これは、イスラーム教を国教としているということではなく、キリスト教やヒンドゥー教、仏教も容認されており、国民それぞれが自分の宗教を持つことを勧めているのです。その他には、インドネシア民族主義、国際主義・人道主義、全員一致の原則、社会の福利があり、現在の憲法前文にも引き継がれています。

問 7 下線部②について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① 交易で海港都市が栄え、スワヒリ語が生まれた。
- ② 大乘仏教の寺院であるボロブドゥールが建設された。
- ③ ドンズー(東遊)運動が提唱され、日本への留学が奨励された。
- ④ ソ連のミサイル基地が建設され、アメリカ合衆国との間で緊張が高まった。

問 8 会話文にあるパンチャシラ(建国五原則)の内容と国章の図柄とを参考に、インドネシアの建国の指導者の名 a・b と、その人物が目指したと考えられる事柄について述べた文あ・いとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 16

インドネシアの建国の指導者の名

a スカルノ

b ナセル

インドネシアの建国の指導者が目指したと考えられる事柄

あ 地域や宗教の違いを超えて、国民全体の統合を目指した。

い 国民の政治的な権利を抑圧しながら、国家主導の経済開発を目指した。

- ① a — あ
- ② a — い
- ③ b — あ
- ④ b — い

世界史B

第3問 現在、世界各地の博物館や美術館には、かつて世界を結び付けてきた交易品や貨幣が収蔵されている。世界史上のモノについて述べた次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 18)

A 次の図1・2は、イスタンブルのトプカプ宮殿に収蔵されている中国製磁器である。

図1



図2



問1 図1の碗^{わん}は、マラッカ(ムラカ)の総督であったPero de Fariaという人物が注文して、1541年に中国で作らせたものである。その名と製作年が、碗の縁に沿って記されている。この碗の来歴はどのようなものと推測できるか。考えられることとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

17

- ① この碗が作られた当時、マラッカを統治していたオスマン帝国の総督が、碗をイスタンブルのスルタンに献上したのだろう。
- ② この碗が作られた当時、碗は注文主の手によって、インド洋を横断し、スエズ運河を経由してイスタンブルにもたらされたのだろう。
- ③ この碗が作られた当時、カントン(広州)貿易はイギリスが支配していたので、碗を運んだのは東インド会社の船だったのだろう。
- ④ この碗が作られた当時、マラッカは東洋貿易の拠点であったので、碗は中国からまずマラッカに運ばれたのだろう。

問 2 図1の碗が作られた世紀には、中国で社会・経済にわたる変化が起こった。その変化について述べた文ア・イと、その変化について説明した文a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 18

中国で起こった変化

ア 海上貿易が活発化し、海禁政策が崩れた。

イ 銀の流通が拡大した。

その変化についての説明

- a これを一因として、新法と呼ばれる制度改革が実現した。
- b 日本やアメリカ大陸からの流入の増大が、その一因であった。
- c これによって、公行を通した貿易の管理が廃止された。
- d これによって、日本との間で勘合貿易が始まった。

- ① アー a
- ② アー c
- ③ アー d
- ④ イー a
- ⑤ イー b
- ⑥ イー c

問 3 図2の器のように、顧客の注文によって中国で製作された磁器は、18世紀のヨーロッパにも輸入された。こうした磁器の輸入は、ヨーロッパにおいて、新しい飲食習慣が拡大したと並行していた。このことについて述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 19

- ① 茶を飲む習慣が広まった。
- ② 輸入された砂糖の消費が拡大した。
- ③ 穀物からパンが作られるようになった。
- ④ コーヒーハウスが流行した。

世界史B

B 次の貨幣X～Zは、ロンドンの大英博物館に収蔵されている、南アジアの金貨である。なお、貨幣の写真は左が表側、右が裏側である。

貨幣X



裏側に描かれているのはインドの女神である。この貨幣を発行した王朝では、サンスクリット文学が栄え、それまで伝承されてきた法典や叙事詩が、現在に伝わるような形へと集大成された。仏教も盛んで、ナーランダー僧院などを通じて、① 中国との交流も行われた。

貨幣Y



表側にはこの貨幣を発行した王朝の君主が描かれ、裏側にはブツダを意味する語がギリシア文字で刻まれている。この王朝の西に位置したパルティアも、初期には貨幣の銘文にギリシア文字を採用していた。だが、これらの地域ではギリシア文化の影響は次第に小さくなり、パルティアを滅ぼした国家では、ア など、イラン地方の伝統に回帰した。

貨幣Z



貨幣の表側にはアラビア文字が刻まれており、「アッラーの他に神はなく、ムハンマドは神の使徒である」と記されている。貨幣Zを発行した君主は、この銘文が表している宗教を信仰しながらも、人頭税(ジズヤ)を免除するなどしてインドの住民の信仰との融和を図り、北インドをほぼ支配下に収めることに成功した。

問 4 下線部①について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 20

- a 鳩摩羅什が、中国から西域へ旅し、仏教を広めた。
 b 法顕が、中国からインドへ旅し、『仏国記』を著した。

- ① a — 正 b — 正
 ② a — 正 b — 誤
 ③ a — 誤 b — 正
 ④ a — 誤 b — 誤

世界史B

問 5 文章中の空欄

ア

 に入れる語句として正しいものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。

21

- ① ゾロアスター教を国教とする
- ② ゴシック様式の建築が広まる
- ③ キープ(結縄)を用いる
- ④ 神聖文字を用いる

問 6 貨幣X～Zが、発行年代の古いものから順に正しく配列されているものを、

次の①～⑥のうちから一つ選べ。

22

- ① $X \rightarrow Y \rightarrow Z$
- ② $X \rightarrow Z \rightarrow Y$
- ③ $Y \rightarrow X \rightarrow Z$
- ④ $Y \rightarrow Z \rightarrow X$
- ⑤ $Z \rightarrow X \rightarrow Y$
- ⑥ $Z \rightarrow Y \rightarrow X$

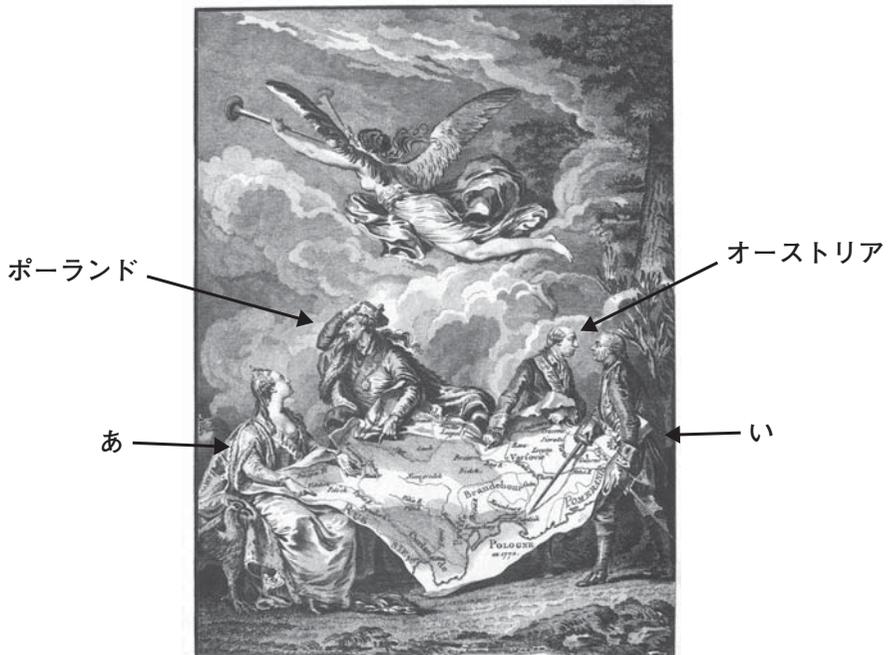
(下書き用紙)

世界史Bの試験問題は次に続く。

世界史B

第4問 世界史上の国家間の関係について述べた次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～5)に答えよ。(配点 17)

A 次の絵は、「王のケーキ」という題が付いている風刺画で、ポーランドの王と、ポーランドを分割する3国の君主たちが描かれている。君主たちの上方に描かれているのは、^{うわさ}噂や名声を象徴する天使ペーデーで、ラッパでこの知らせを広めている。ポーランドは、この後、数回にわたって分割され、19世紀には独自の国家を持つことはなかった。①20世紀になって独立を回復したが、大国の狭間^{はざま}にあって、たびたび難しい舵取り^{かじ}を迫られた。



問1 下線部①に関連して、20世紀前半のヨーロッパにおける政治状況について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① スペイン内戦で、フランコが勝利した。
- ② ユーゴスラヴィア連邦が解体した。
- ③ イギリスで、保守党と労働党が二大政党となった。
- ④ フランスとベルギーが、ルール地方を占領した。

問 2

- (1) 絵の中のあといについて、それぞれが表している国とその君主の名の組合せとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。なお、正しいものは複数あるが、解答は一つでよい。 24

- ① あ：ロシア—エカチェリーナ2世
- ② あ：イギリス—エリザベス1世
- ③ あ：フランス—ルイ14世
- ④ い：ロシア—ニコライ2世
- ⑤ い：プロイセン—フリードリヒ2世
- ⑥ い：イタリア—ヴィットーリオ＝エマヌエーレ2世

- (2) (1)で選んだ答えについて、その国や王朝の歴史について述べているものを、次のa～hから三つ選択し、それらを年代順に配列したものと正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 25

- a シュレジエンを獲得した。
- b ウィーン会議に参加した。
- c ローマ教皇領を併合した。
- d ベテルブルクを築いて、都とした。
- e テューダー朝が開かれた。
- f ユトレヒト同盟を結成した。
- g ドイツ帝国を建国した。
- h 三国協商を形成した。

- ① a → b → g ② b → a → h ③ c → a → b
- ④ d → b → h ⑤ e → f → b ⑥ f → g → h
- ⑦ g → a → d ⑧ h → e → c

世界史B

B 次の資料1・2は、中国の王朝と近隣の国家との関係に関するものである。
(引用文は原文を一部省略したり、改めたりしたところがある。)

資料1 トルコ語碑文「ビルゲ＝カガン碑文」(735年建立)

天神のごとき天から生まれた突厥のビルゲ＝カガンとして、この時、私は即位した。ウテュケン(モンゴル高原にある聖山)の山林より良いところはない。国を保つべき地はウテュケンの山林である。この地に住んで、我々は中国の民と和睦した。彼らは金・銀・酒・**ア**を限りなく与える。中国の民の言葉は甘く、その**ア**は柔らかい。甘いその言葉、柔らかいその**ア**に欺かれて、多くの突厥の民が死んだ。その地に行くと、お前たち突厥の民よ、死ぬぞ！ウテュケンの地に住んで、隊商を送るのであれば、お前たちにいかなる憂苦もない。

資料2 モンゴル語年代記『アルタン＝ハーン伝』

アルタン＝ハーンが中国に出発して迫り、平等に大いなる政事を話し合うために駐営すると、中国の明皇帝は、モンゴルのアルタン＝ハーンに順義王という尊い称号を奉り、大いに金銀など諸々の財物と、莫大ぼくだいな量のさまざまな**ア**の衣服を与えた。アルタン＝ハーンをはじめ数多くの王侯たちは、規約を定めて中国とモンゴルの政事を協議して定めて、莫大な賞賜と交易品の望んだものを取って、引き揚げた。

問 3 資料中の空欄 **ア** に当てはまる語 a・b と、資料1と資料2から読み取れる事柄あ・いとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **26**

ア に当てはまる語

a 綿織物

b 絹織物

読み取れる事柄

あ 中国王朝は、遊牧国家の武力を警戒する一方で、遊牧社会から物産を入手しようとしている。

い 遊牧国家は、漢人社会の経済に組み込まれることを警戒しながらも、中国王朝から物産を入手しようとしている。

① a — あ

② a — い

③ b — あ

④ b — い

問 4 資料1は、630年に中国王朝に一度滅ぼされた後、復興した突厥で立てられた碑文の一部である。この中国王朝について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **27**

① 現住地で所有している土地・財産に対して課税する税制が採用された。

② 天子の力が衰え、有力な諸侯が、天子に代わって諸国を束ねた。

③ 口語に近い文体で表現する、新しい文学運動が唱えられた。

④ 人材を九等で評価して推薦する官僚登用法が採用された。

世界史B

問 5 資料2は、中国の王朝と自国との関係を、自国の優位ないし対等とする立場から述べた歴史書の記述である。これとは異なる立場に立って書かれたと考えられる資料を、次の①～④から一つ選べ。 28

① 隋に宛てた日本(倭)の国書

日出ずる^{ところ} 処の天子が、書を日没する処の天子に致す、^{つづが} 恙はないか。

② 明に送った琉球国王の国書

琉球国王の^{しやうはし} 尚巴志が謹んで申し上げる。我が国は、父祖が太祖皇帝(洪武帝)から曆を頂戴して臣属して以来、今に至るまで五十数年、厚い恩を受け、折にふれ朝貢している。

③ ベトナムの黎朝が出した布告

我が大越の国は文を重んじる国であり、国土は別々である上に、習俗もまた南北(ベトナムと中国)で異なっている。趙・丁・李・陳(ベトナムの諸王朝)が我が国を興して以来、漢・唐・宋・元とそれぞれ並び立つ帝国をつくってきた。

④ チベットのラサに立てられた「唐蕃会盟碑」

チベットと中国の両国は、現在支配している領域と境界を守り、その東方全ては大中国の領域、西方全てはまさしく大チベットの領域で、チベット人はチベットで安らかにし、中国人は中国で安らかにするという大いなる政事を結んで一つにした。

(下書き用紙)

世界史Bの試験問題は次に続く。

世界史B

第5問 世界史に関わる経済・統計の資料に基づく授業を想定した、次の会話文

A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 18)

A イギリスの綿工業に関する授業

先生：今日は、産業革命をリードしたイギリスの綿工業について学びます。表1は、ワイシャツ生地の原料となる細い綿糸の価格の推移を表しています。原料綿花コストと生産コストの合計が綿糸価格です。

表1

年	1779	1784	1799	1812	1830	1860	1882
原料綿花コスト(x)	24	24	40	18	7.75	6.875	7.125
生産コスト(y)	168	107	50	12	6.75	4.625	3.375
綿糸価格($x + y$)	192	131	90	30	14.5	11.5	10.5

※単位：綿糸1ポンド(約454g)当たりペンス

先生：表1からは、綿糸価格が年とともに下落していくことが読み取れます。

その理由を考えてみましょう。

生徒P：機械化によって大量生産が可能になったことが重要だと思います。

生徒Q：機械の燃料となる石炭の輸送費が下がったのも理由ではないでしょうか。

生徒R：人件費が安くなったことも影響しているはずです。

先生：なるほど。では、3人の考えはどのような事実に基づいていますか。

生徒S：例えば、表1の時期に、が挙げられます。

先生：そうですね。

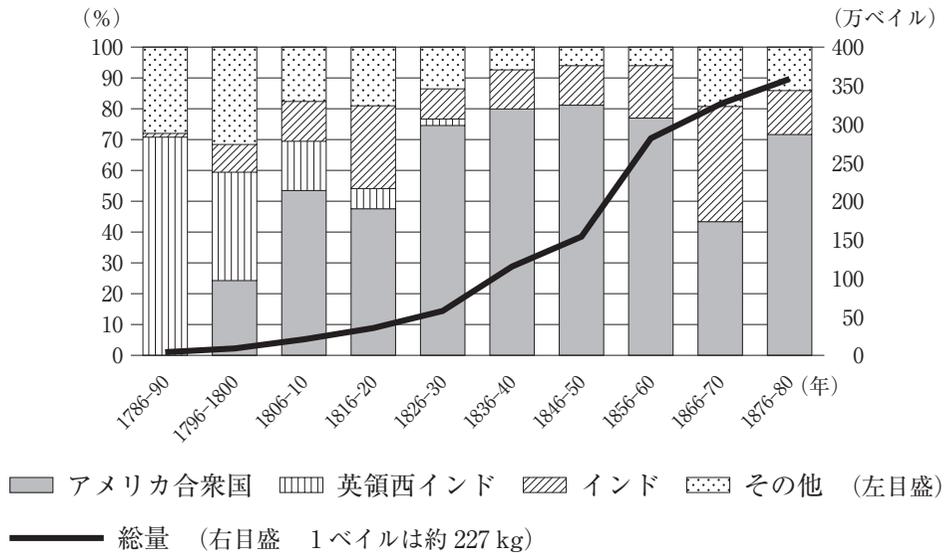
問1 生徒Sの発言中にある空欄に入れる文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 蒸気機関が、工場の動力として導入されたこと
- ② 運河や鉄道などの交通網が整備されたこと
- ③ 保護貿易によって、輸入品の価格が下がったこと
- ④ 囲い込みの進展で、都市部に人口が流入したこと

生徒T：原料綿花の供給状況も、価格の下落に関係しているのではないのでしょうか。

先生：それも理由の一つですね。では、原料綿花の供給状況について見てみましょう。グラフ1は、イギリスで消費された綿花の生産地別の比率(帯グラフ)と、消費量の総量(折れ線グラフ)とを示すものです。

グラフ1



先生：イギリスで消費される原料綿花は、18世紀末まではイギリス領西インド産の割合が多いのですが、19世紀に入ると、**イ**産の割合が急増し、1840年頃には4分の3以上を占めます。**イ**産は、**ウ**で大量生産される低コストの綿花でしたので、その割合が急激に増加したものと考えられます。

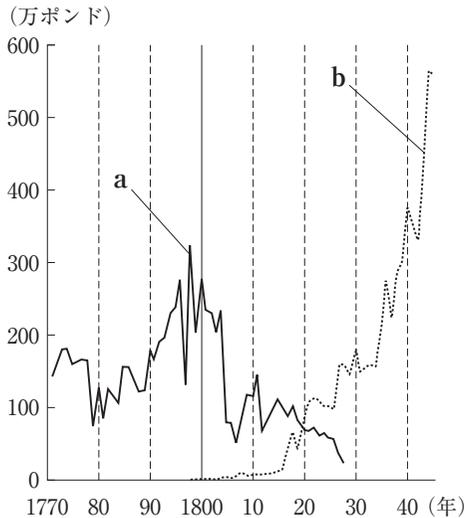
問2 先生の説明の中にある空欄**イ**と**ウ**に入れる語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **30**

- | | |
|-------------|-------------------|
| ① イーインド | ウー農奴を領主直営地で働かせる制度 |
| ② イーインド | ウー黒人奴隷を大農園で働かせる制度 |
| ③ イーアメリカ合衆国 | ウー農奴を領主直営地で働かせる制度 |
| ④ イーアメリカ合衆国 | ウー黒人奴隷を大農園で働かせる制度 |

世界史B

先生：最後に、東西間の綿布の流れを示すグラフ2と、これまでの表1やグラフ1を参考にして、イギリスの産業革命によって、当時の経済状況がどのように変化したのか、パネルにまとめてください。

グラフ2



- a アジア(主にインド)から西へ輸出された綿布の総額
- b イギリスから東へ輸出された綿布の総額

問3 先生の指示によって生徒たちが作った次のパネルのうち**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 31

①

1820年頃を境に、イギリス産綿布の東への輸出総額が、インド産綿布の西への輸出総額を上回りました。

②

産業革命期において、イギリスの綿糸価格が下落した最も大きな要因は、原料綿花コストが下がったことです。

③

19世紀半ばのイギリスは、アメリカ合衆国産の綿花を主な原料として綿布を生産し、インドなど東へ大量に輸出しました。

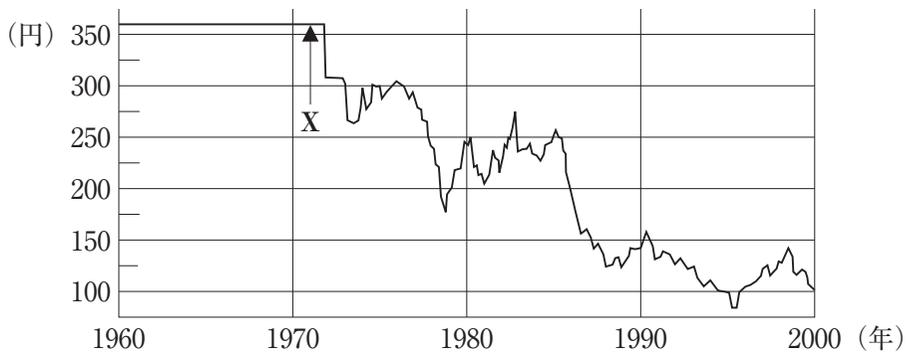
④

イギリスで産業革命が進展した時期には、イギリスからの綿布輸出と、イギリスへの原料綿花の輸入は共に増加傾向にあります。

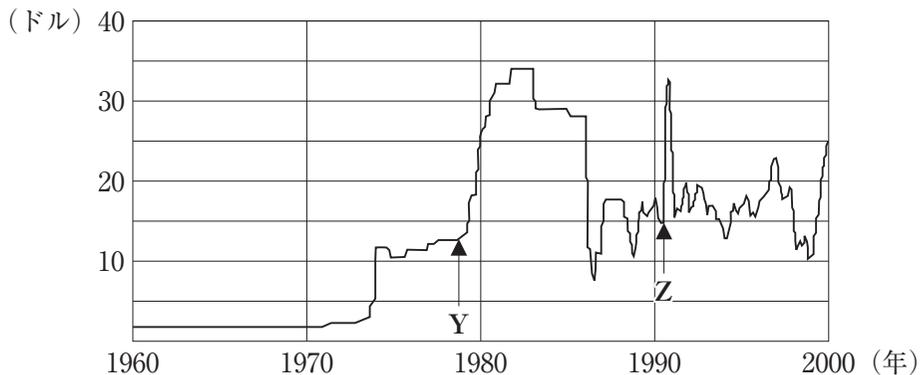
B 為替相場と原油価格に関する授業

先生：今日は、第二次世界大戦後の世界の動向を、経済資料から検証してみま
しょう。グラフ3・4に共通する特徴を挙げてください。

グラフ3 米ドルに対する日本円の為替相場の推移



グラフ4 国際原油価格の推移(1バレル当たり)



生徒：両方とも、1970年頃までは値がほとんど動いていません。グラフ3に
ついては、エことが原因だと思います。グラフ4に
ついては、先進国の国際石油資本が原油価格の決定権を握っていたから
だと思います。

先生：その通りです。しかし、グラフ3については、①矢印Xの時期のアメリカ合衆国大統領がとった政策によって、状況が大きく変化しています。

世界史B

生徒：グラフ4でも、1970年から数年して、価格の変動が始まります。

先生：よく気がつきましたね。② グラフ4の矢印Yと矢印Zの時期の価格変動は、中東地域の革命や戦争が関係しています。

問4 生徒の発言中にある空欄

エ

 に入れる文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

32

- ① 世界貿易機関が、自由貿易のルールづくりを推進していた
- ② 米ドルに対する各国通貨の交換比率が固定されていた
- ③ アムステルダムが、国際金融の中心として機能していた
- ④ 大国が、植民地を囲い込む経済ブロックを形成していた

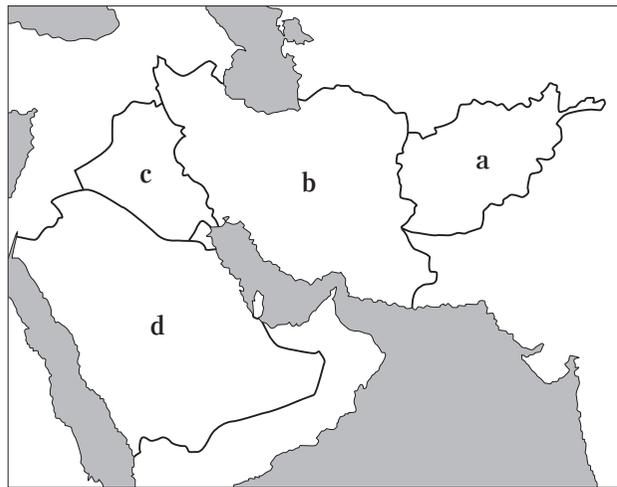
問5 下線部①の人物の外交に関する事績として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

33

- ① ヨーロッパ諸国とアメリカ大陸の相互不干渉を表明した。
- ② 国交のない中華人民共和国を訪問し、関係改善に踏み出した。
- ③ 共産主義陣営に対し、封じ込め政策を開始した。
- ④ ラテンアメリカ諸国に対し、善隣外交を展開した。

問 6 下線部②に関連して、次の文章中の空欄 **オ** と **カ** に当てはまる国について、それぞれの位置を示す地図中の a ~ d の組合せとして正しいものを、下の①~④のうちから一つ選べ。 **34**

Yの時期には、 **オ** で王政が倒れ、イスラーム共和国が成立した。
 Zの時期には、隣国を侵略した **カ** に対し、多国籍軍が組織された。



- | | | | |
|--------|------|--------|------|
| ① オー a | カー c | ② オー a | カー d |
| ③ オー b | カー c | ④ オー b | カー d |

日本史 B

(解答番号 ~)

第1問 SさんとTさんのクラスは、「歴史の論述」の授業に際し、主題を設定し探究した。次の年表甲・乙は、SさんとTさんそれぞれが設定した主題に沿って作成したものである。下の問い(問1～6)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 18)

【年表甲】

主題 時代	Sさんの主題 (I)
原始	水稲耕作が始まる。
古代	<input type="text" value="A"/> 北陸に東大寺領荘園が置かれる。
中世	<input type="text" value="C"/> ① <u>武田信玄が治水事業を行う。</u>
近世	<input type="text" value="E"/> 印旛沼の干拓事業が失敗する。
近代 現代	<input type="text" value="足尾銅山の近代化"/> 都市郊外に計画的な大規模住宅地が造成される。 <input type="text" value="G"/>

【年表乙】

主題 時代	Tさんの主題 (II)
原始	九州南部で噴火により集落が壊滅する。
古代	<input type="text" value="B"/> 東北の太平洋側を津波が襲う。
中世	地震により鎌倉大仏が被害を受ける。 <input type="text" value="D"/>
近世	② <u>阿波国を津波が襲う(慶長碑文)。</u> ③ <u>阿波国を津波が襲う(宝永碑文)。</u> <input type="text" value="F"/> 浅間山が噴火し、火砕流の被害が出る。
近代 現代	<input type="text" value="足尾銅山の近代化"/> 関東大震災が発生し、死傷者が多数出る。 <input type="text" value="H"/>

問 1 年表を参考にして、SさんとTさんの主題(Ⅰ)・(Ⅱ)の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① Ⅰ－開発と人々との関係史 Ⅱ－災害と人々との関係史
- ② Ⅰ－災害と人々との関係史 Ⅱ－開発と人々との関係史
- ③ Ⅰ－文化と人々との関係史 Ⅱ－産業と人々との関係史
- ④ Ⅰ－産業と人々との関係史 Ⅱ－文化と人々との関係史

問 2 次の文ア～ウは、SさんとTさんが年表の空欄 ～ に入る出来事について調べた文である。文ア～ウと空欄 ～ の組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

ア 築城技術などを応用することで、大規模な治水が可能となり、大河川流域を安定的に耕作したり、台地上を耕地化できるようになった。

イ 兵庫県を中心に都市を襲う地震が発生した。復興に当たってボランティア活動が盛んに行われ、その重要性が人々に認識されることになった。

ウ 民衆に布教していた僧侶が国家からの弾圧を受けながらも、渡来系技術者集団とともに、灌漑用水池かんがいを整備するなど社会事業を行った。

- | | | | |
|---|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| ① | ア－ <input type="text" value="C"/> | イ－ <input type="text" value="G"/> | ウ－ <input type="text" value="A"/> |
| ② | ア－ <input type="text" value="F"/> | イ－ <input type="text" value="G"/> | ウ－ <input type="text" value="B"/> |
| ③ | ア－ <input type="text" value="E"/> | イ－ <input type="text" value="G"/> | ウ－ <input type="text" value="B"/> |
| ④ | ア－ <input type="text" value="D"/> | イ－ <input type="text" value="H"/> | ウ－ <input type="text" value="C"/> |
| ⑤ | ア－ <input type="text" value="E"/> | イ－ <input type="text" value="H"/> | ウ－ <input type="text" value="A"/> |
| ⑥ | ア－ <input type="text" value="F"/> | イ－ <input type="text" value="H"/> | ウ－ <input type="text" value="D"/> |

日本史B

問 3 年表の下線部③のように、戦国大名は様々な方策で領国の振興を図った。Sさんは、この時期の振興策を、いくつかのカードにまとめてみた。クラスの人たちにカードを提示したところ、そのうちの一枚は適当でないとの指摘を受けた。適当でないカードを、次の①～④のうちから一つ選べ。

3

①

城下町の振興に向けて、
楽市令が出され、
商人を呼び寄せようと
した。

②

家臣同士の争いや領民
の争いを防ぐために独
自の法整備に努めた。

③

新たな採掘技術や精錬
技術を導入して、金山
や銀山を開発した。

④

横行した撰銭行為に対
し、錢座を設けて貨幣
を铸造し、経済の活性
化を図った。

問 4 次の写真は、年表の下線部⑬・⑭の津波碑である。一つの岩に J (慶長碑文)・K (宝永碑文)二つの碑文が彫られている。これらの碑文について述べた文として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 4

写真



(徳島県海部郡海陽町所在)

J

南無阿弥陀仏

……大海三度鳴り、人々おおいに驚き、手をこまねくところ、逆浪さかなみしきりに起きる。その高さ十丈、七度来たり、大潮と名ずるなり。……後代のために言い伝う。

K

……地おおいに震え、たちまち海潮湧き出づること一丈余り……。三次反復して止む。しかるに我が浦一人の死者も無し、幸いというべし。後の大震に遭わば、あらかじめ海潮の変をおもいはかり避けよ、則ち可なり。

- ① J・Kの碑文は、どちらも死者を供養するために彫られた。
- ② J・Kの碑文は、この浦の人々に警告を発してきた。
- ③ J・Kの碑文に記されている津波の規模は、ほぼ同じであった。
- ④ J・Kは、民衆が建てた碑なので、文化財としての価値は低い。

日本史B

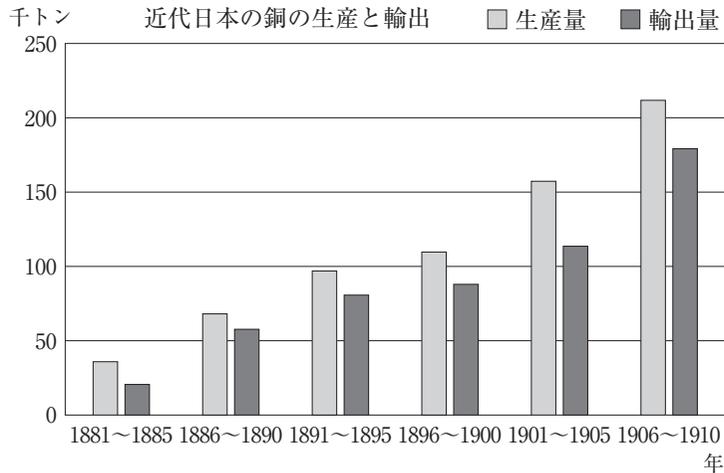
問 5 それぞれ異なる主題について調べていたSさんとTさんだったが、二人の年表で **足尾銅山の近代化** が共通していることに気付いた。そこで、収集した次の資料ア～ウをもとに二人で検討し、次ページの【**論述の要旨**】をまとめた。【**論述の要旨**】の空欄 **X** ・ **Y** に入る文 a～d の組合せとして正しいものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。 **5**

資料ア

つとに力を鉱業につくし、足尾銅山をはじめ各所の鉱山をおこし、経営ひろく泰西たいせいの学術を応用し旧来の面目を一新す。産額盛んに増し、販路遠く及び、大に海外の信用を博す。誠に本邦鉱業者の模範とするに足る。その功勞の偉なる、特に感賞すべし。

(『古河市兵衛翁伝』)

資料イ



(武田晴人『日本産銅業史』により作成)

資料ウ

近年、鉱業上の器械洋式の発達するに従いて、その流毒ますます多く……渡良瀬川に流出して沿岸その害を被らざるなし。……議会において大声疾呼たいせいしつこその救済の策を求むること、ここに十年、しかし政府の当局は常に言を左右にして、適當の措置を施すことなし。

(『田中正造全集』第三卷)

【論述の要旨】

資料ア・イをもとに、X ことが分かるが、資料イ・ウから考えると、Y ことにより、深刻な水質汚濁などの問題は継続した。いま重視されているように、環境に配慮しながら生産できればよかったのだが。

- a 鉱業を盛んにし、地域の振興に尽くしたことで、地域住民の信用を獲得できた
- b 西洋技術の導入で銅の生産が増え、多くが輸出されたことで外貨を獲得できた
- c 地域の人々の主張に沿って、政府がこの地域の救済を優先した
- d 鉱毒の被害が訴えられたものの、政府が経済成長を優先した

- ① X — a Y — c
- ② X — a Y — d
- ③ X — b Y — c
- ④ X — b Y — d

問 6 SさんとTさんは、足尾銅山の近代化について協働して学習したのをきっかけに、二人の主題に対する政府の対応を調べてみると、各時代により違うことに気付いた。時代ごとの特徴を説明した次の文 a～e について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 6

- a 中央政府の機能が弱く、在地の力で自ら救済することが原則であった。
- b 法律が整備され、大規模工事の際には影響を事前評価する仕組みができた。
- c 河川の修復のため、地方の諸侯にお手伝普請が課せられた。
- d 中央政府の指示により陸・海軍が派遣され、救援に当たった。
- e 中央政府の命令で、郡家(郡衙)の倉から米が施される仕組みがあった。

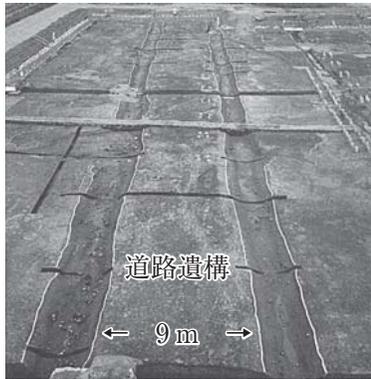
- ① a — e — c — b — d
- ② a — c — e — d — b
- ③ e — c — d — a — b
- ④ d — b — a — e — c
- ⑤ b — e — a — d — c
- ⑥ e — a — c — d — b

日本史B

第2問 陸上競技の「駅伝」は日本独特のもので、その名称は古代の駅制に由来するという説もある。古代の駅制では、七つの官道(七道)に一定間隔で駅家^{うまや}が設けられ、公用の者は駅家に置かれた馬を乗り継いで目的地に達した。古代の官道と付随する諸施設に関する次の問い(問1～4)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 15)

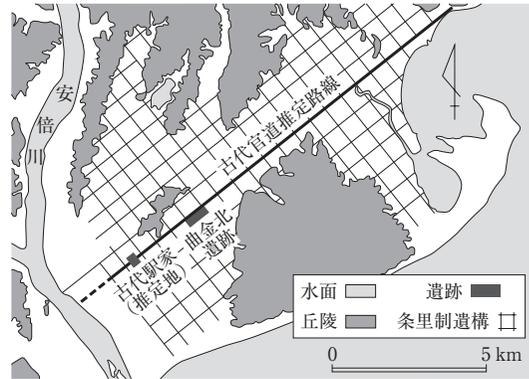
問1 次の写真と地図から読み取れる情報X・Yと、情報から考えられる古代の官道の性格についての考察a～dの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 7

写真



まがりかねきた
曲金北遺跡(静岡県)

地図



(武部健一『古代の道』により作成)

- X 発見された道路は直線的な道路である。
- Y 官道の推定路線と条里制遺構の一辺とは方位が一致している。
- a 官道は、国府と郡や里を結ぶために造られた。
- b 官道は、中央と地方との情報伝達の速さを重視して造られた。
- c 官道は、都の街路と同じ方位でルートが設定された。
- d 官道は、土地の区画制度の基準と関係している。
- ① X — a Y — c ② X — a Y — d
- ③ X — b Y — c ④ X — b Y — d

問 2 播磨国の小犬丸遺跡は、古代の官道跡が見つかるとともに、初めて駅家の構造が発掘調査で分かった遺跡である。次の表と資料を参考に下の問い(1)・(2)に答えよ。

表 小犬丸遺跡の変遷

7世紀以前	湧水地点があり、谷間の一部で水田耕作が行われていた。
8世紀前半	山のふもとに7m幅の道路が存在する。(7mは発見できた道幅)
8世紀後半～10世紀頃	道路は幅を維持したまま使用されている。
11～12世紀	道路部は埋まり、新たに掘立柱建物が建てられる。
13世紀～	掘立柱建物が姿を消し、水田となる。

(『小犬丸遺跡Ⅱ』により作成)

資料 806年に出された勅

勅すらく、「備後・安芸・周防・長門等の国の駅館は、もと蕃客(注1)に備えて、瓦葺粉壁(注2)とす。頃年、百姓疲弊し、修造すること堪え難し。あるいは蕃客入朝するに、便りに海路に従う。その破損は、農閑に修理せよ。……」。

(『日本後紀』)

(注1) 蕃客：外国使節

(注2) 瓦葺粉壁：瓦葺き屋根で白壁であること。瓦を葺かない掘立柱の平屋建物や竪穴住居が一般的な中で、周囲から目立つ存在であった。

(1) 表と資料が表している官道の名称を、次の①～④のうちから一つ選べ。

8

- ① 山陽道 ② 山陰道 ③ 東海道 ④ 中山道

(2) 表と資料から古代の官道制度が衰退した背景として考えられる次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

9

X 官道制度の衰退の背景には、百姓を雑徭などの労役に動員する律令制の変化がある。

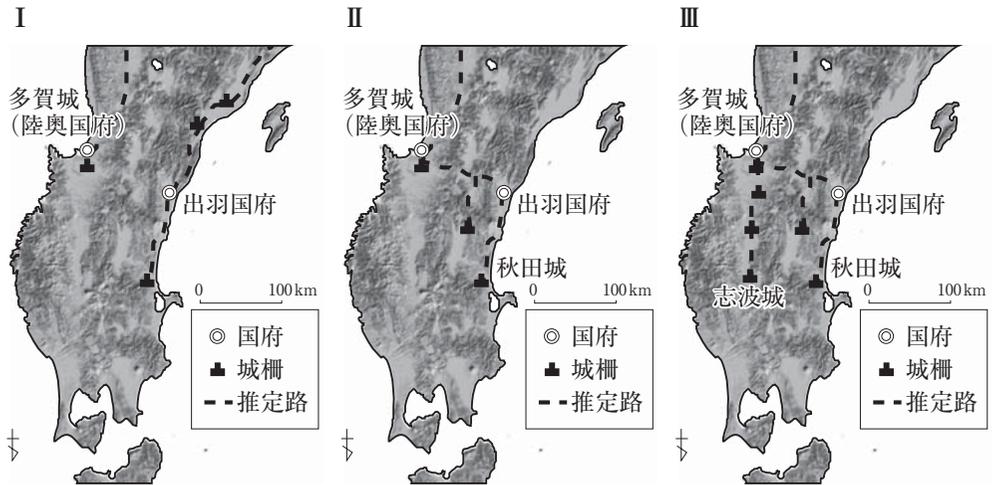
Y 官道制度の衰退の背景には、外国使節の交通路の転換がある。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
 ③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

日本史B

問 3 東北地方の官道や国府・城柵は、「中央政府にとり蝦夷支配の重要拠点であった」が、方位を逆転した次の地図Ⅰ～Ⅲを参考にすれば、「蝦夷にとり中央政府の脅威を象徴するものであった」と見ることもできる。その根拠として、地図から読み取れる情報の中から正しいものをX～Zから選び、選んだ情報と歴史的事実a～cの組合せとして正しいものを、下の①～⑨のうちから二つ選べ。

10 · 11



(群馬県立歴史博物館『古代のみち』, 地理院地図などにより作成)

(注) 地図中, 陰影の薄い部分は平野部を表す。

地図から読み取れる情報

- X 中央政府はこの地域には国を設置しなかった。
- Y 中央政府はこの地域の平野部から支配域を拡大していった。
- Z 中央政府はこの地域の太平洋沿岸部に城柵を多く設置した。

歴史的事実〔a～cはすべて正しい〕

- a 蝦夷は、しばしば多賀城や秋田城を襲撃の対象とした。
- b 中央政府は、城柵の近くに関東の農民を移住させて開墾を行った。
- c 蝦夷は、独自の言語や墓制などを保持した。

- ① X — a
- ② X — b
- ③ X — c
- ④ Y — a
- ⑤ Y — b
- ⑥ Y — c
- ⑦ Z — a
- ⑧ Z — b
- ⑨ Z — c

問 4 古代から近世の日本においては、道路に関(関所)が設けられた。関についての資料Ⅰ～Ⅲと関の機能を説明した文ア～ウを組み合わせ、それを古いものから時代順に並び替えた場合、組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 12

資料Ⅰ 条々

一、関所の事

右、宝戒寺^{ほうかいじ}(注1)造営料所として、甲斐国^{おひわけ}追分宿の関所を寄進せらるるなり。……

一、関賃銭の事

右、人別に三文、馬においては五文となすべし。……

資料Ⅱ 覚

一、関所を出入る輩、乗物の戸をひらかせ、笠・頭巾をとらせ通すべき事

一、往来の女つぶさに証文引合せて通すべき事

一、相定る証文なき鉄砲は通すべからざる事

資料Ⅲ 太師藤原惠美朝臣押勝の逆謀^{ぎやくぼう}、すこぶる泄^もれたり。……即ち使を遣して三関^(注2)を固く守らしむ。

(注1) 宝戒寺：鎌倉にある寺院。

(注2) 三関：伊勢国の鈴鹿関，美濃国の不破関，越前国^{あらし}の愛発関をさす。

ア 主に軍事的機能を果たした。

イ 主に経済的機能を果たした。

ウ 主に警察的機能を果たした。

① [Ⅰ－イ] → [Ⅱ－ウ] → [Ⅲ－ア] ② [Ⅰ－ア] → [Ⅱ－ウ] → [Ⅲ－イ]

③ [Ⅱ－イ] → [Ⅲ－ア] → [Ⅰ－ウ] ④ [Ⅱ－ウ] → [Ⅲ－ア] → [Ⅰ－イ]

⑤ [Ⅲ－ア] → [Ⅰ－イ] → [Ⅱ－ウ] ⑥ [Ⅲ－イ] → [Ⅰ－ア] → [Ⅱ－ウ]

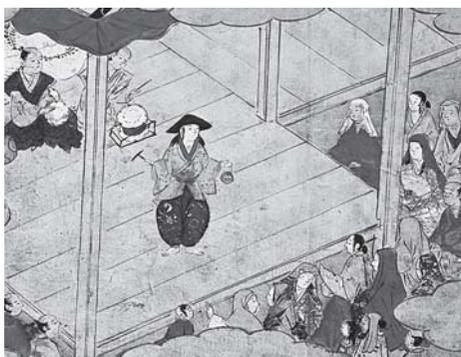
日本史B

第3問 次の文章は、ある生徒が書いたレポートの要旨である。これを読んで、下の問い(問1～4)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 15)

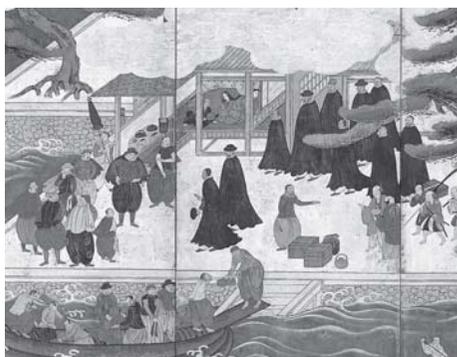
日本は海に囲まれている。海を介して外からの波が日本に大きな影響を与えたことが分かる。日本の歴史を見た場合、外からの文明的な波は大きく三つあった。一つ目は7～8世紀で、中国の影響の下に日本の古代国家が成立した。二つ目は①15～16世紀で、中国とともに南蛮諸国からの影響が強かった。そして、三つ目が19～20世紀で、欧米の波というべき時代で、近世から近代へと大きく転換した。

そうすると、②10～14世紀や17～18世紀は、外からの波が少なかった時代といえることができる。

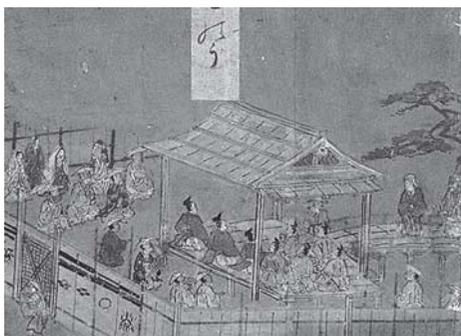
問1 下線部①の時代に関連して、「外からの波」を説明するための資料として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13



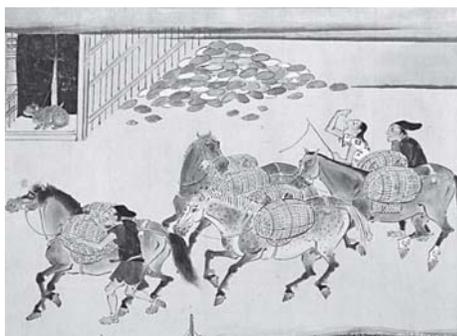
①



②



③



④

問 2 歴史には様々な見方がある。下線部①の時代には「外からの波」が少なかったという見方に対する反論として成り立つものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

14

- ① この時代には、海外渡航許可書を持った貿易船が東南アジアに行っており、その交流を通して「外からの波」は少なくなかった。
- ② この時代には、中国に公式の使節が派遣され、先進的な政治制度や文化などがもたらされており、「外からの波」は少なくなかった。
- ③ この時代には、長崎の出島の商館を窓口にして、ヨーロッパの文物を受け入れており、「外からの波」は少なくなかった。
- ④ この時代には、中国との正式な国交はなかったが、僧侶や商人の往来を通して「外からの波」は少なくなかった。

日本史B

問 3 このレポートは「外からの波」について書かれているが、視点を国内に変えて見ると様々な変化が起こっている。下線部⑥の時代のうち、13～14世紀の社会・経済に関する次の問い(1)・(2)に答えよ。

(1) 次の資料は、この時代の商業と交通について書かれている。この資料からは読み取れない内容を、下の①～④のうちから一つ選べ。 15

資料

凡そ京の町人、浜の商人、鎌倉の^{あつら}誂へ物、宰府(大宰府)の^{さいふ}交易、室・兵庫の船頭、淀・河尻の^{とね}刀禰、大津・坂本の馬借、鳥羽・白河の車借、泊々の借上、湊々の^{かえせん}替銭(注1)、浦々の問丸、同じく割符を以て之を進上し、^{さいふ}倣載(注2)に任せて之を運送す。

(『庭訓往来』)

(注1) 替銭：為替を組んで送金すること。または、それを扱った商人。

(注2) 倣載：「倣」は「僦」の誤りか。「^{しゅうざい}僦載」ならば、車や船を雇って運送するという意味。

- ① 商工業者たちは公家や寺社の保護を受けて活動していた。
- ② 遠隔地間の取引のため、信用手段による決済が行われた。
- ③ 商品の委託や運送を扱う業者が現れた。
- ④ 物資の輸送のため、水上・陸上交通とも盛んであった。

(2) この時代は、単位面積当たりの生産性の向上により収穫が増加したという。このことについて述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。 16

X 二毛作が始まり、土地に養分を供給するために、油粕・^{ぬか}糠などの肥料を、金銭を支払って購入するようになった。

Y 鋤・鎌・鋤などの鉄製農具が広く普及し、牛馬の使用が進んだため、田畑を効率よく耕せるようになっていった。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 4 下線部③の時代のうち、15世紀についてX・Yのような評価もある。それぞれの評価を根拠付ける情報をXはa・b、Yはc・dから選ぶ場合、評価と根拠の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

17

評価

X この時代は「政治的に不安定な時代」である。

Y この時代は「民衆が成長した発展の時代」である。

根拠

- a 並立した二つの朝廷を支持する勢力が武力抗争し、また、その一方の内紛などもあって内乱は長期化した。
- b 全国の大名を二分した大乱は終結したが、地方には新たな政治権力も生まれ、地域的な紛争は続いた。
- c 村では、共同の農作業や祭礼を通して構成員同士が結び付いていたが、戦乱に対する自衛で内部の結合を強くしていった。
- d 村では、指導者が多くの書籍を収集して人々に活用させ、儒学を中心とする高度な教育を進めていった。

① X — a Y — c

② X — a Y — d

③ X — b Y — c

④ X — b Y — d

日本史B

第4問 近世社会では、幕府や藩の教育政策が展開され、庶民生活の中でも寺子屋などを通じて人々の読み書き能力が高まった。そのため多様な資料が社会の諸階層で生み出され、今日、各地の文書館や博物館などで見ることができる。これらの資料に関する次の問い(問1～4)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 15)

問1 近世の村と文書に関する次の資料A・Bについて述べた文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

18

資料A 幕府が代官に示した法令

年貢等勘定以下、代官・庄屋に百姓立ち会い相極^{きわ}むべく候(決めるべきである)、毎年その帳面に相違^{はんぎょう}これ無しとの判形^{はんぎょう}致し(印を押す)おかせ申すべし、何事によらず庄屋より百姓共に非分^{ひぶん}申しかけざる様に(不正な言いがかりを付けないように)堅く申し渡すべき事

(『御触書寛保集成』)

資料B 信濃国五郎兵衛新田村の百姓が名主を訴えた訴状

村方入用帳(村の会計帳簿)と申すもの天保年中よりこれ無く、百姓代に筆算致させず、すべて自分日記へ付け込み、……(名主以外の村)役人に一切相わからざる様取り計らいの事

(『柳沢信哉家文書』)

- a 資料Aでは、年貢等の勘定に際し、百姓が不正な言いがかりを付けないよう、書類に印を押させることが定められている。
- b 資料Aでは、村で庄屋が年貢等の勘定を行う際には、百姓にも関係書類を見せて公正に行うべきことが定められている。
- c 資料Bから、全村民が各自の日記に村の諸費用を記録し、名主を監視した例があることが分かる。
- d 資料Bから、村で名主が諸費用の勘定を一人で行ったために、名主が訴えられた例があることが分かる。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 2 俳句も社会の世相を語る資料である。信濃国の百姓で、文化・文政期に活躍した俳諧師の小林一茶は、数多くの俳句を残している。次の問い(1)・(2)に答えよ。

(1) 化政文化に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 19

- ① 十返舎一九の著した滑稽本が広く読まれた。
- ② 富士山を題材にした葛飾北斎の浮世絵が人気を博した。
- ③ 近松門左衛門が人形浄瑠璃の脚本を書いた。
- ④ 曲亭(滝沢)馬琴が勸善懲悪を盛り込んだ読本を執筆した。

(2) 次の甲・乙の一茶の俳句とその説明 X・Y について、その正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 20

- 甲 春風の国にあやかれおろしや船 (「文化句帖」文化元年)
 乙 さまづけ(様付)に育てられたる蚕かな (「七番日記」文政元年)

X 甲の句からは、外国船の来航が庶民にも伝わっていたことが分かる。
 Y 乙の句からは、農家の副業として養蚕が重視されていたことが分かる。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正
- ④ X 誤 Y 誤

日本史B

問 3 次の甲・乙は、それぞれ作成目的が異なる近世の絵図である。甲・乙について述べた文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。 21

甲

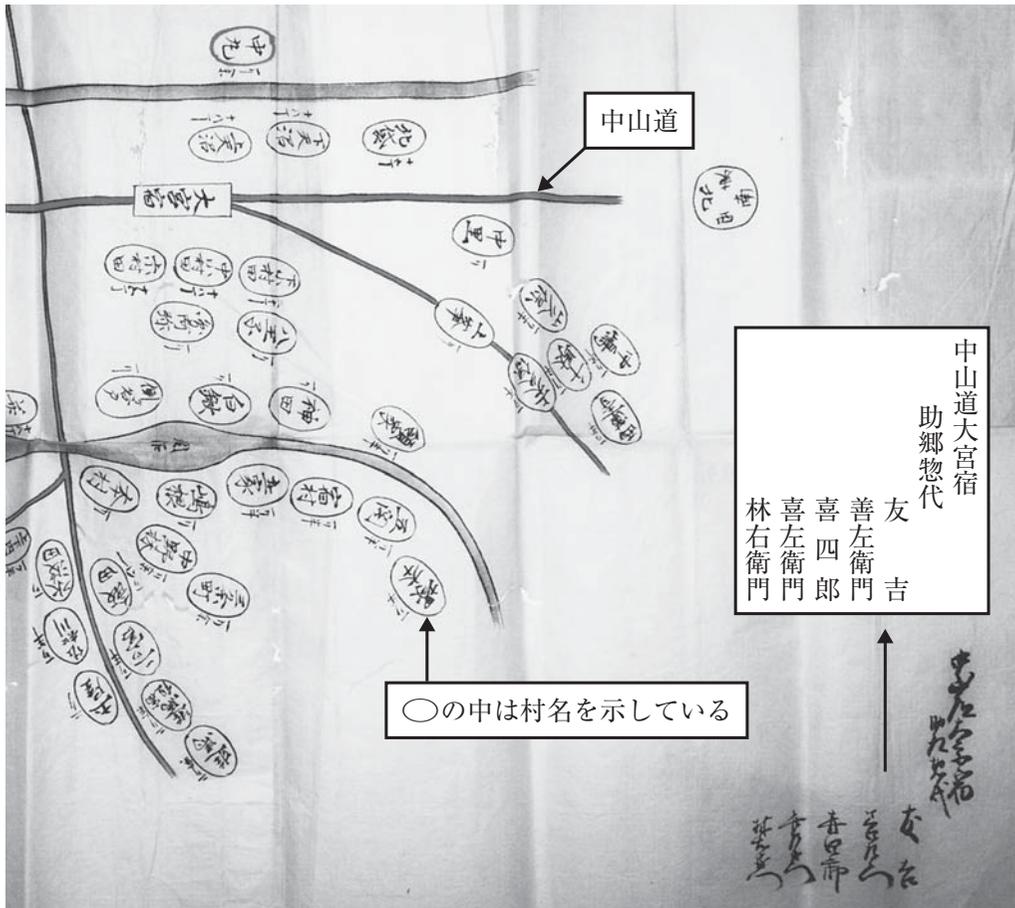


〔『下野国安蘇郡閑馬村繪圖』〕

(現在の栃木県佐野市)

(注) この絵図は、村から領主に提出するために作成されたものと考えられる。

乙



〔『中山道大宮宿助郷村絵図』〕

(現在の埼玉県さいたま市)

(注) この絵図の右下に、助郷役を負担する村の代表の署名がある。

X 甲は山・川・道・耕地・神社など一村全体の概要が示され、村の様子を領主が知るために作成された。

Y 乙は街道・宿場・その周辺の村名などが示され、庶民の物見遊山のために作成された。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

日本史B

問 4 次の資料は、近世の幕府の公文書管理に関して、儒学者の荻生徂徠が述べた意見である。a～dの文章を読み、荻生徂徠の意見a、bと、その意見と関係があると思われる政策c、dの組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

22

資料

何の役にも留帳とめちよう(注1)これなく、これよろしからざる事なり。大形は(注2)先例・先格をそらに覚えて取扱う故に、覚え違いあるなり。……当時は(注3)その役に久しき人、内証にて(注4)書留をしておく人あれども、面々の手前にて(注5)したる事ゆえ、多くは甚はなはだ秘して同役にも見せず、手前の功ばかりを立てんとす。……留帳ある時は、新役人もその帳面にて役儀やくぎの取扱い相知るる故に、御役仰付けられたる明日よりも役儀勤まるべし。

(『政談』)

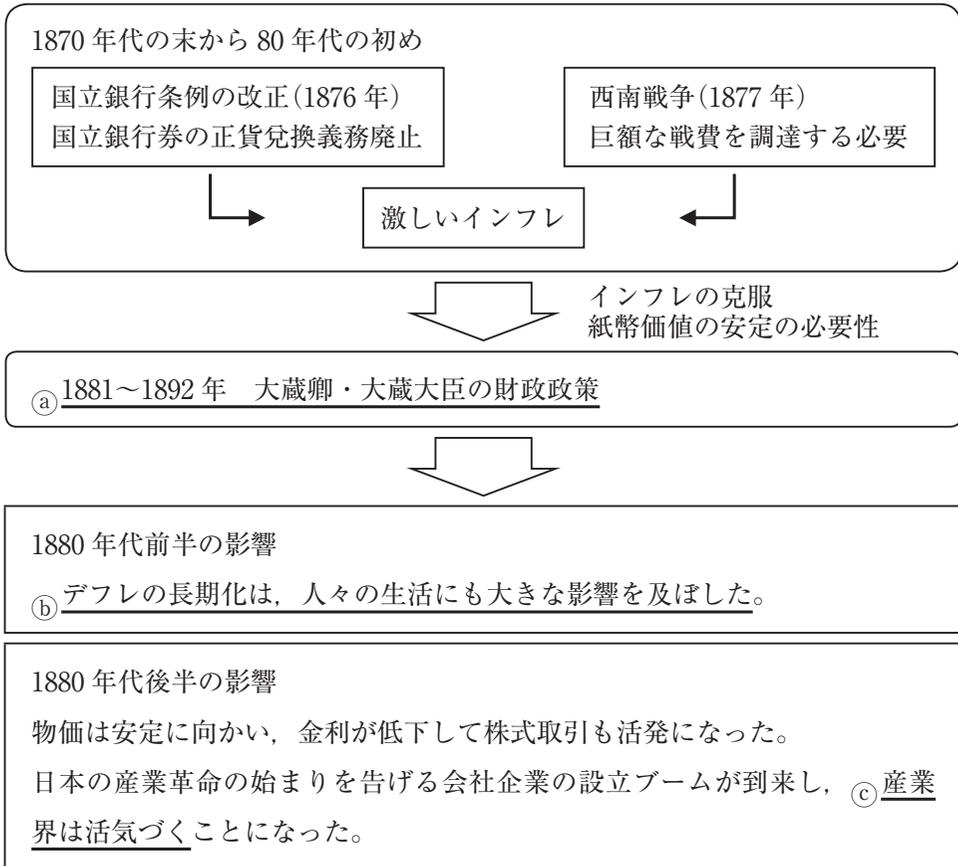
- (注1) 留帳：役所の業務記録，公文書。
(注2) 大形は：大方は，たいていは。
(注3) 当時は：最近は，近頃は。
(注4) 内証にて：内々に，内緒で。
(注5) 面々の手前にて：それぞれの役人たちが自分で。

- a この資料で徂徠は、留帳がなくても役人は記憶や経験に基づき、問題なく業務を遂行できると述べている。
- b この資料で徂徠は、自分の功績のために作成する書留とは別に、留帳を作成すると、行政効率が上がると述べている。
- c この資料にある徂徠の意見と関わる政策として、新しく人材を登用する足高の制が考えられる。
- d この資料にある徂徠の意見と関わる政策として、庶民の意見を聞く目安箱の設置が考えられる。

- ① a — c ② a — d ③ b — c ④ b — d

第5問 近代日本の経済・国際関係に関する次のA・Bの資料や文章を読み、下の問い(問1～5)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 16)

A 次の図はUさんが近代史の学習内容を整理したものである。



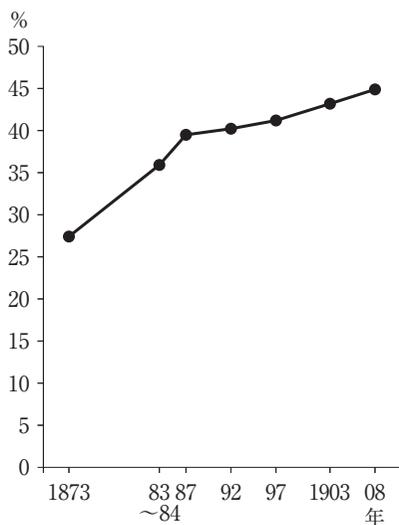
問1 下線部①の政策について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① 歳入を増加させるため、地租の引き上げを行った。
- ② 日本銀行を設立し、銀兌換の銀行券を発行した。
- ③ 不換紙幣を処分するために、歳出超過の予算が編成された。
- ④ 緊縮財政がとられたので、軍事費への支出は削減された。

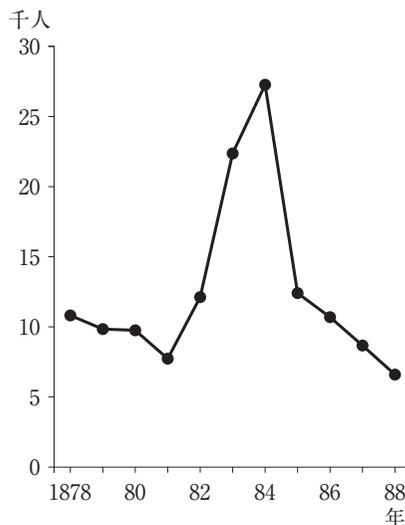
日本史B

問 2 下線部⑥を示すデータとして適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

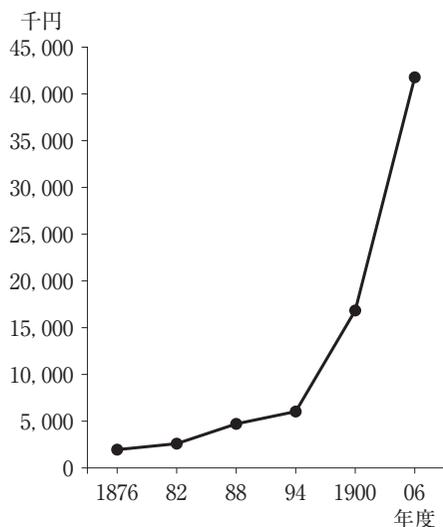
① 小作地の割合(北海道を除く)



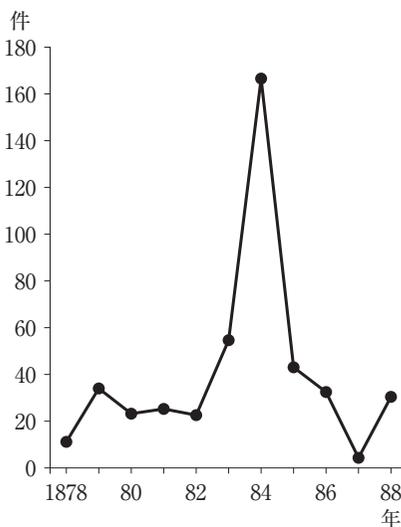
② 破産者の人数



③ 関税収入額



④ 農民騒擾^{そうじょう}の発生件数



(三和良一・原朗編『近現代日本経済史要覧 補訂版』, 日本銀行統計局『明治以降本邦主要経済統計』, 青木虹二『明治農民騒擾の年次的研究』により作成)

問 3 下線部㉔に関連して、この時期に勃興した代表的な産業の営業状況を示した次の資料甲・乙に関して述べた文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 25

甲 紡績機械および蒸気機械などは、英国に派遣された技術長が有名なオールドムのプラット社およびヒック社に直接談判し、改良機械を注文した。

(三重紡績会社『第 2 回実際考課帖』)

乙 貨物の収入がこのように増加したのは、線路の延長によって地方物産の価格に変動が生じ、販路が広がったことと、沿線の人々の多くが汽車を便利と感じるようになり、従前の船便を止めて汽車便にするなど、ますます鉄道を利用するものが増えたことによる。

(日本鉄道会社『第 11 回報告』)

X 甲が示す産業の技術導入をめぐる、この企業は主体的でなかった。

Y 乙が示す産業の発達は、国内の物流のあり方に影響を与えた。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

日本史B

B Uさんは、日清戦争後の日本について考えるため、1897年にフランス人のピゴーが描いた次の図をもとに調べ、下のメモをまとめた。

図



メモ

台車に乗って大きく描かれているのが日本であり、ナポレオンを気取って多くの人々に台車をひかせて、進むべき道を示している。進むべき行き先は絵の中で示されている。この絵のタイトルは「危険な黄色人種」とされている。

問 4 図と同じ危機意識で描かれたビゴアの風刺画として最も適当なものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。

26

①



社交界に出入りする紳士淑女

②



アジア帝国

③



ビスマルク

元旦(お祈り)。先生、私をお導きください……

伊藤博文

④

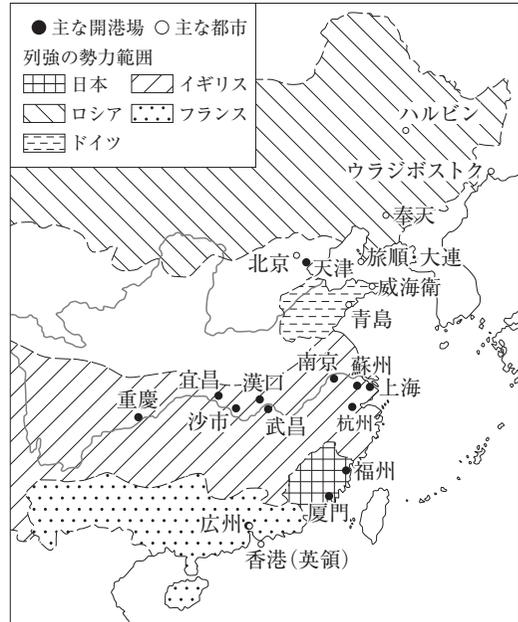
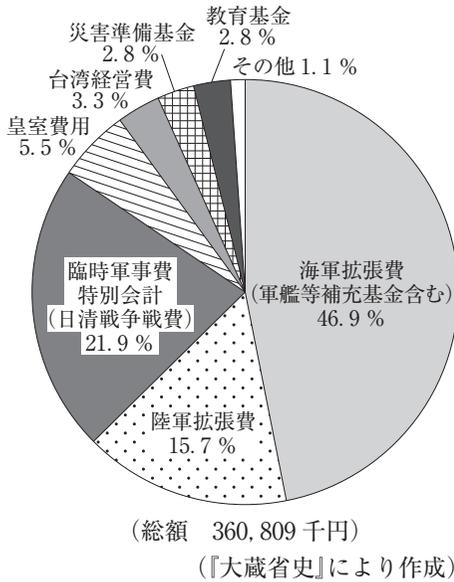


魚釣り遊び

日本史B

問 5 次の資料Ⅰ～Ⅳは、日清戦争後の日本や日本と諸外国との関係を示している。資料Ⅰ～Ⅳを参考にして、イギリスが利益を得ることになった下関条約の条項を、下の①～④のうちから二つ選べ。 27 ・ 28

資料Ⅰ 日清戦争の賠償金の使途 資料Ⅱ 主な開港場と列強の勢力範囲(1900年前後)



(濱下武志『世界歴史大系 中国5』などにより作成)

(注) アヘン戦争後、清国はイギリス・アメリカ・フランスに片務的な最恵国待遇を認めていた。

資料Ⅲ

日本の主力艦調達先
(日清戦争後～日露戦争)

種別	調達先	隻数
戦艦	イギリス	4隻
巡洋艦	イギリス	4隻
	イタリア	2隻
	フランス	1隻
	ドイツ	1隻

(『日本外交文書』により作成)

資料Ⅳ

清国の対外借款(日清戦争賠償金関係)

成立時期	借款金額	年利	借款引受国
1895年	4億フラン	4.0%	ロシア・フランス
	(英貨換算 1,582万ポンド)		
1896年	1,600万ポンド	5.0%	イギリス・ドイツ
1898年	1,600万ポンド	4.5%	イギリス・ドイツ

(『日本外交文書』などにより作成)

- ① 清国は朝鮮の独立を認める。
- ② 遼東半島・台湾・澎湖諸島を日本に割譲する。
- ③ 日本に賠償金2億^{テール}両を支払う。
- ④ 新たに沙市・重慶・蘇州・杭州を開市・開港する。

第6問 近現代史に関するまとめの授業で、時代の転換点を考えてみることになり、Aさん、Bさん、Cさんは、次のような中間発表を行った。それぞれの発表を読み、下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 21)

Aさんの発表

私は、日露戦争での勝利が日本の大きな転換点の一つだと思います。その理由は、日本人の意識に大きな変化があったのではないかと考えたからです。① 夏目漱石の『三四郎』の一節を取り上げたいと思います。この作品の中で漱石は、中学校教師に「こんな顔をして、こんなに弱っては、いくら日露戦争に勝って、一等国になってもだめですね。」と語らせ、「三四郎は日露戦争以後こんな人間に出会うとは思ってもよらなかった。」と書いています。漱石が描いたこの時期は、② 日露戦争後の日本人の意識の変化があったと考えられ、時代の転換点だったと思います。

問1 発表に備えてAさんは下線部①について調べた。この人物の説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 民権論や国権論の高まりの中で、政治小説を著述した。
- ② 近代化が進む中で、知識人の内面を国家・社会との関係で捉えた。
- ③ 都会的感覚と西洋的教養をもとに、人道主義的な文学を確立した。
- ④ 社会主義運動の高揚に伴って、階級理論に基づいた作品を残した。

日本史B

問 2 Aさんの発表をきっかけに、クラス内で下線部⑥の捉え方について再度調べてみることになった。その結果、次の甲・乙の二つがあることが分かった。甲・乙とそれぞれの根拠として考えられる歴史的な出来事ア～エの組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 30

甲 戦争に勝利して、明治維新以来の課題が克服され、日本も近代的な国家になったという意識が大きくなった。

乙 莫大な対外債務を背負い、重税にあえいでいる民衆は、戦争の成果に満足せず、政治への批判的意識が高まった。

ア 農村では旧暦も併用されるなど、従来と変わらない生活が続いていた。

イ 八幡製鉄所の経営が安定し、造船技術が世界的水準となるなど重工業が発達した。

ウ 戊申詔書を発布して、国民に勤労と儉約を奨励し、国民道徳の強化に努めた。

エ 新聞・雑誌などが激しく政府を批判したので、新聞紙条例を発布して取り締まった。

① 甲—ア 乙—ウ

② 甲—ア 乙—エ

③ 甲—イ 乙—ウ

④ 甲—イ 乙—エ

Bさんの発表

私は、大正から昭和初期にかけての文化の大衆化を大きな転換点と考えました。その理由は、文化の大衆化が、今日の政治思想につながる◎吉野作造が唱えた民本主義を人々に広め、いわゆる「憲政の常道」を支える基盤を作ったと考えたからです。この時期に ことを背景にして、新聞や総合雑誌の発行部数の急激な増加、円本の発刊など、マスメディアが発達し、社会運動が広がることに結び付くと考えました。

問 3 Bさんの発表の空欄 に入る文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 小学校教育の普及が図られ、就学率が徐々に上昇した
- ② 啓蒙思想の影響で欧化主義などの傾向が現れた
- ③ 洋装やカレーライスなどの洋風生活が普及した
- ④ 中等教育が普及し、高等教育機関が拡充された

問 4 Bさんの発表に対して、下線部◎を転換の理由とすることに疑問が出された。そこでBさんがさらに調べたところ、吉野の理論について、現在の日本国憲法の基本原理と比較すると時代的な限界があることが分かった。その時代的な限界を示す吉野の言葉の要約を、次の①～④のうちから一つ選べ。

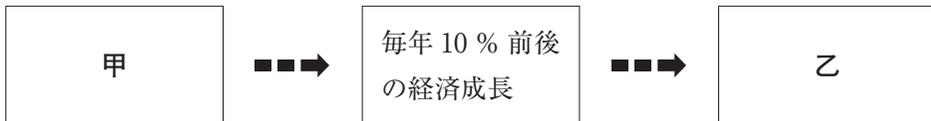
- ① 民本主義は、国民主権を意味する民主主義とは異なるものである。
- ② 民本主義は、日本語としては極めて新しい用例である。
- ③ 民本主義は、政権運用の方針の決定が民衆の意向によるということである。
- ④ 民本主義は、民衆の利益や幸福を求めるものである。

日本史B

Cさんの発表

私は、1960年代を大きな転換点と考えました。1960年に岸内閣に代わった池田内閣が「国民所得倍増計画の構想」を閣議決定し、「今後10年以内に国民総生産26兆円に到達することを目標」としました。その結果、① 経済が安定的に成長する時代を迎えると同時にその^{ひず}みも現れました。この時期には社会全体も大きく変化しました。例えば Y。こうした変化から私は大きな転換点と考えました。

問5 下線部①について、その因果関係をCさんは、次のような図を作って発表することにした。甲・乙に入る語句の最も適切な組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 33



- 甲 ア マイクロエレクトロニクス技術の導入などによる内需拡大
イ 技術革新に伴う大企業の膨大な設備投資
- 乙 ウ 公害の発生
エ バブル経済の出現

- ① 甲—ア 乙—ウ ② 甲—ア 乙—エ
③ 甲—イ 乙—ウ ④ 甲—イ 乙—エ

問6 Cさんの発表の空欄 Y に入る文として **適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

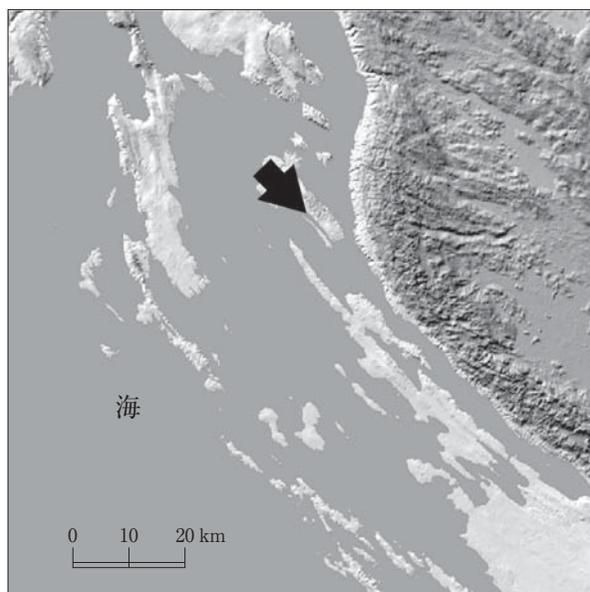
- ① 農村では、大都市への人口流出が激しくなり、農業人口が減少しました
② 生活様式が画一化し、多くの人々が中流意識を持つようになりました
③ 高校・大学への進学率が上昇し、高等教育が広がりました
④ 円高の進行で、アジアなどに生産拠点を移す産業の空洞化が進みました

地 理 B

(解答番号 ~)

第1問 人々の生活は、世界各地の自然環境とかがわりながら形成されてきた面がある。世界の自然特性を様々な角度から考えるための下の問い(問1～6)に答えよ。
(配点 20)

問1 現在では世界各地の自然環境を考察するために、GIS(地理情報システム)が積極的に使われている。次の図1は、世界のある海岸地方の衛星データからGISで作成した地図である。また、次ページの図2は、図1中の矢印の視点からの地形景観を3D化したものであり、図2の下の文章は、この地域の海岸地形の形成過程についてまとめたものである。次ページの文章中の空欄アとイに当てはまる語の正しい組合せを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。



JAXAの資料により作成。

図 1



高さは強調して表現してある。Google Earth により作成。

図 2

図1では、海岸線とほぼ(ア)して、細長い島々が配列している様子が読み取れる。これは、海岸線と同じ向きの稜線をもった地形が沈水し、稜線の一部が沈水から取り残されて島々ができたことを示している。すなわち、図2にみられる海岸付近の山地と島に挟まれた海域は、雨水や河川など主に(イ)営力により形成された谷に、海水が侵入してできたものと考えられる。

	①	②	③	④
ア	直交	直交	平行	平行
イ	外的	内的	外的	内的

地理B

問 2 人々の生活に影響を及ぼす自然の力は、世界の中に偏在している。次の図 3 中の A～C は、火山噴火や地震が多い地域を示している。また、次ページの図 4 中のカ～クは、図 3 中の A～C のいずれかの範囲を示しており、j と k は火山または地震の震央*のいずれかである。図 3 中の A の範囲に当てはまる図と、図 4 中の j があらかずものとの正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

*2000～2016 年に観測されたマグニチュード 6.0 以上の地震の震央。

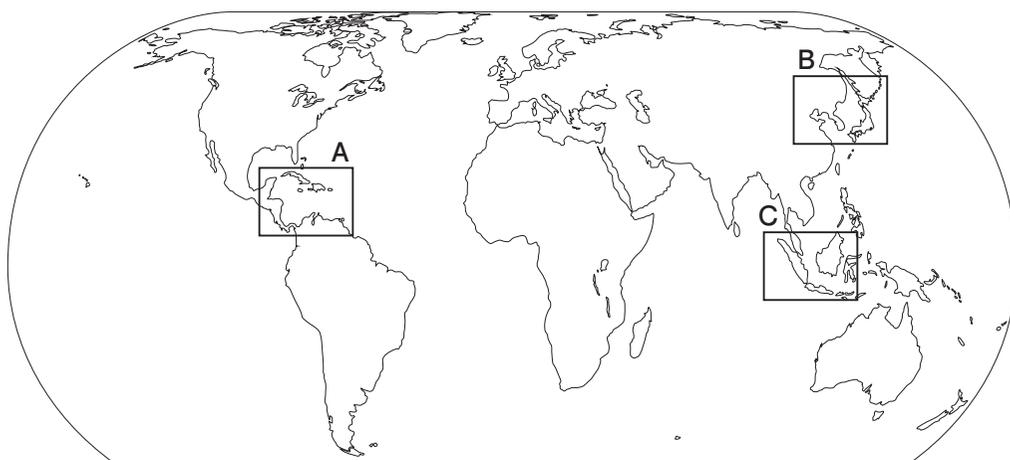
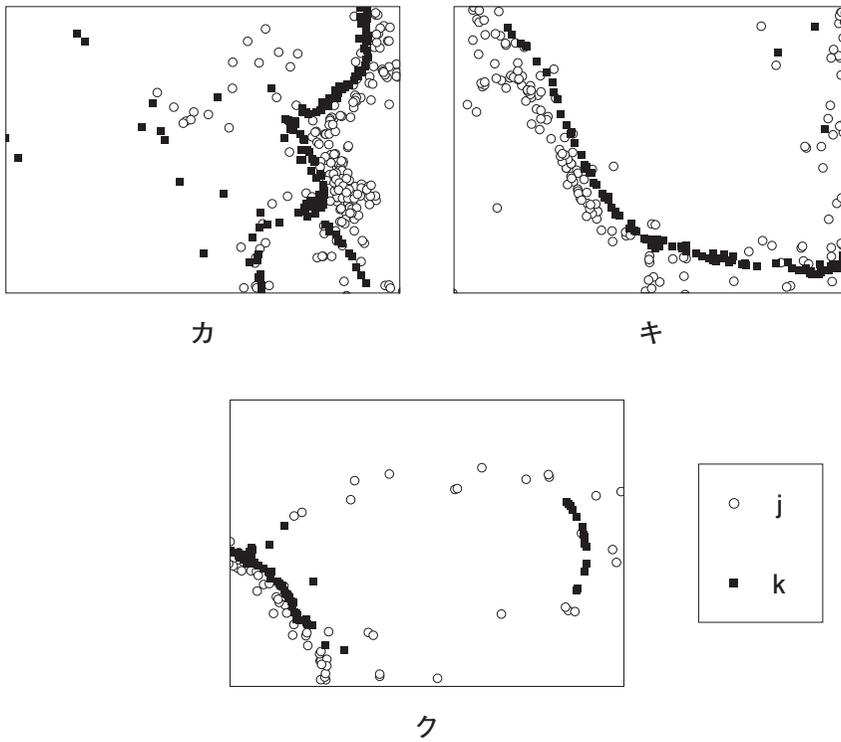


図 3



USGS の資料などにより作成。

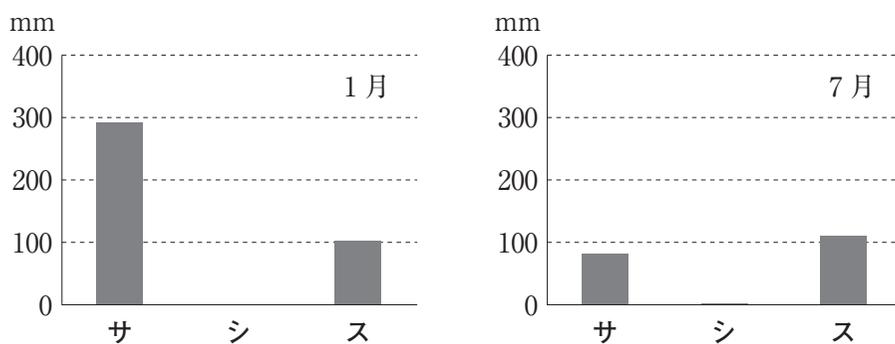
図 4

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	カ	カ	キ	キ	ク	ク
j	火山	地震の震央	火山	地震の震央	火山	地震の震央

地理B

問 3 世界各地の気候は様々な背景によって影響を受ける。次の図5中のサ～スは、下の図6中の地点E～Gのいずれかにおける1月および7月の降水量を示したものである。図5中のサ～スについて述べた次ページの文中の下線部について、正誤の組合せとして正しいものを、次ページの①～⑧のうちから一つ選べ。

3



『理科年表』により作成。

図 5



図 6

地理B

サ：1月に降水量が多く7月にも降水がみられることから、北東貿易風と南東貿易風の収束帯などの影響を受ける地点Eだろう。

シ：両月ともに降水量がほぼ記録されていないことから、高い山脈の風下側に位置するなどの影響で、低地の気温も低く雲が発達しにくい地点Fだろう。

ス：両月ともに降水がみられるが、大きく変化しないことから、寒気と暖気の境界に生じる前線などの影響を受ける地点Gだろう。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
サ	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
シ	正	正	誤	誤	正	正	誤	誤
ス	正	誤	正	誤	正	誤	正	誤

問4 自然環境の特徴について検討するためには、目的に応じて適切な方法を選択することが重要である。「今年の夏季は例年に比べて暑かった」ということを、世界の様々な地点において客観的に検討するための方法として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① 「猛暑日」(最高気温 35℃ 以上の日)という指標を用い、検討対象地点の猛暑日数平年値(30年間の平均値)と今年の猛暑日数とを比較する。
- ② 検討対象地点とその周辺にある気象観測所の今年の夏季の気温データを収集し、気温の分布図を作成する。
- ③ 検討対象地点における夏季の平均気温平年値(30年間の平均値)を求め、今年の夏季の平均気温と比較する。
- ④ 検討対象地点付近で、通行する人に聞き取り調査し、今年の夏季の気温についての考えを聞く。

地理B

問 5 人々の生活の場は、自然の特性を生かして形成されていることがある。次の図7は、日本の河川の上流から下流にかけての地形を模式的に示したものであり、下のタ～ツの文は、図7中の地点P～Rにおける典型的な地形と土地利用の特徴について述べたものである。P～Rとタ～ツとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 5

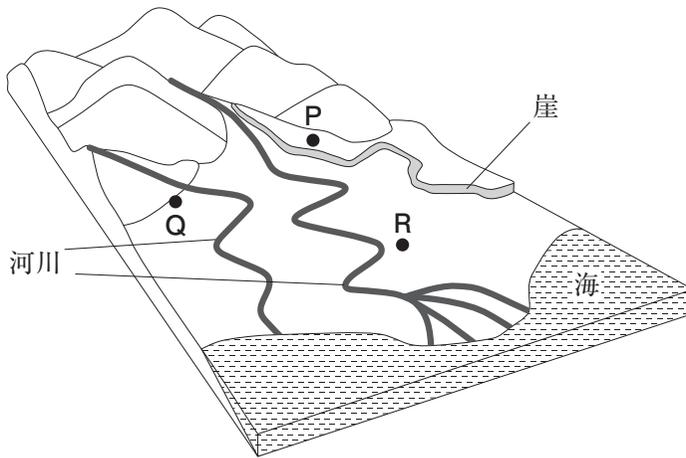


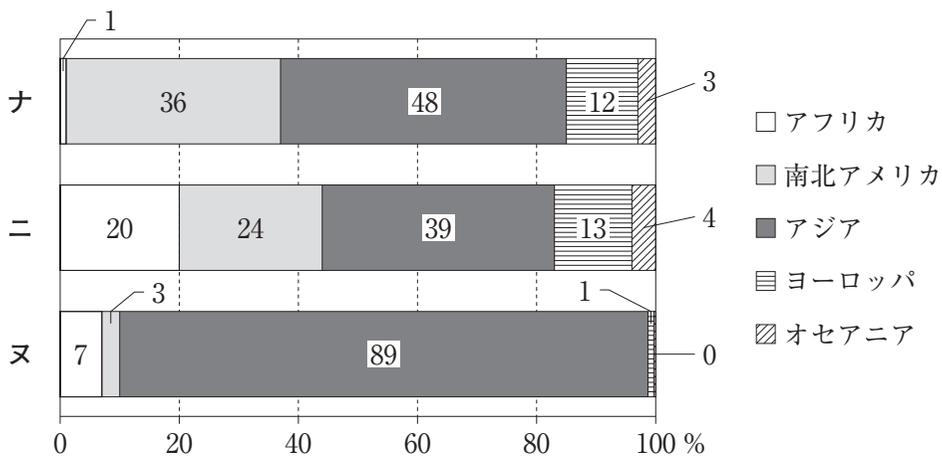
図 7

- タ 河川近くの砂などが堆積した微高地は古くからの集落や畑などに、河川から離れた砂や泥の堆積した水はけの悪い土地は水田などに利用されてきた。
- チ 砂や礫れきが堆積して形成された土地で、地下にしみこんだ伏流水が湧き出しやすく、水が得やすいため集落が形成されてきた。
- ツ 3地点の中では形成年代が古く、平坦な地形で、水が得にくいため開発が遅れる傾向があり、用水路の整備にともない水田や集落の開発が進んだ。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	タ	タ	チ	チ	ツ	ツ
Q	チ	ツ	タ	ツ	タ	チ
R	ツ	チ	ツ	タ	チ	タ

問 6 自然災害にともなう被害の規模は、地域の自然条件とともに社会条件ともかわりがある。次の図 8 中のナ～ヌは、1986 年から 2015 年の間に世界で発生した自然災害*の、発生件数、被害額、被災者数のいずれかについて地域別の割合を示したものである。ナ～ヌと指標名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 6

*自然現象に起因する災害で、10 名以上の死者、100 名以上の被災者、非常事態宣言の発令、国際援助の要請のいずれかに該当するもの。



Natural Disaster Data Book 2015 により作成。

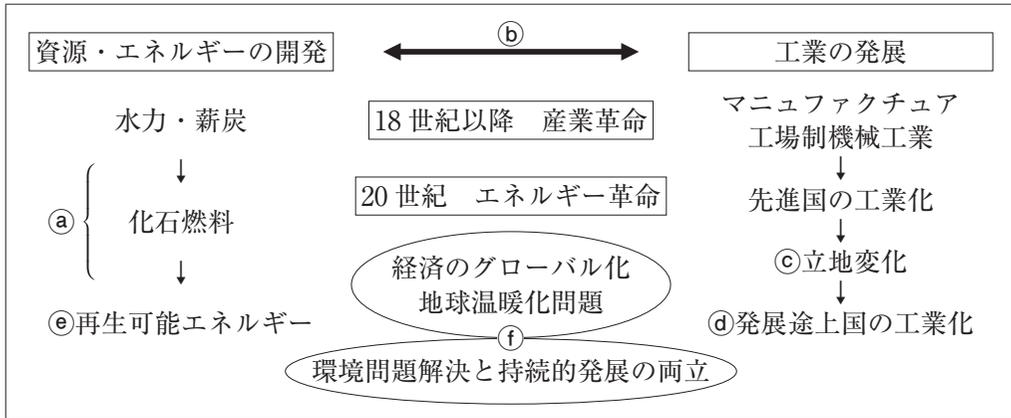
図 8

	ナ	ニ	ヌ
①	発生件数	被害額	被災者数
②	発生件数	被災者数	被害額
③	被害額	発生件数	被災者数
④	被害額	被災者数	発生件数
⑤	被災者数	発生件数	被害額
⑥	被災者数	被害額	発生件数

地理B

第2問 資源・エネルギーの開発と工業の発展に関する次の模式図を見て、図中の

①～⑥に関する下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 20)



問1 ①に関して、次の表1は、世界のエネルギー資源の埋蔵量と、埋蔵量を年間生産量で除した可採年数を地域別に示したものであり、①～④は、アフリカ、北アメリカ(メキシコを含む)、中・南アメリカ(メキシコを除く)、西アジアのいずれかである。アフリカに該当するものを、表1中の①～④のうちから一つ選べ。 7

表 1

	石油		天然ガス		石炭	
	埋蔵量 (億バレル)	可採年数 (年)	埋蔵量 (兆 m ³)	可採年数 (年)	埋蔵量 (億トン)	可採年数 (年)
①	8,077	70	79.1	120	12	752
②	3,301	126	8.2	46	140	141
③	2,261	31	10.8	11	2,587	335
欧州(ロシアを含む)・中央アジア	1,583	24	62.2	59	3,236	265
④	1,265	43	13.8	61	132	49
アジア(西アジアを除く)・太平洋	480	17	19.3	32	4,242	79

統計年次は2017年。

BP Statistical Review of World Energy の資料などにより作成。

問 2 ⑥に関して，次の図1は，石油や鉄鉱石の利用を事例として，資源・エネルギーの産出から加工，さらには利用・消費について写真と文章で示したものである。図1中の文章中の下線部①～④のうちから，適当でないものを一つ選べ。

8

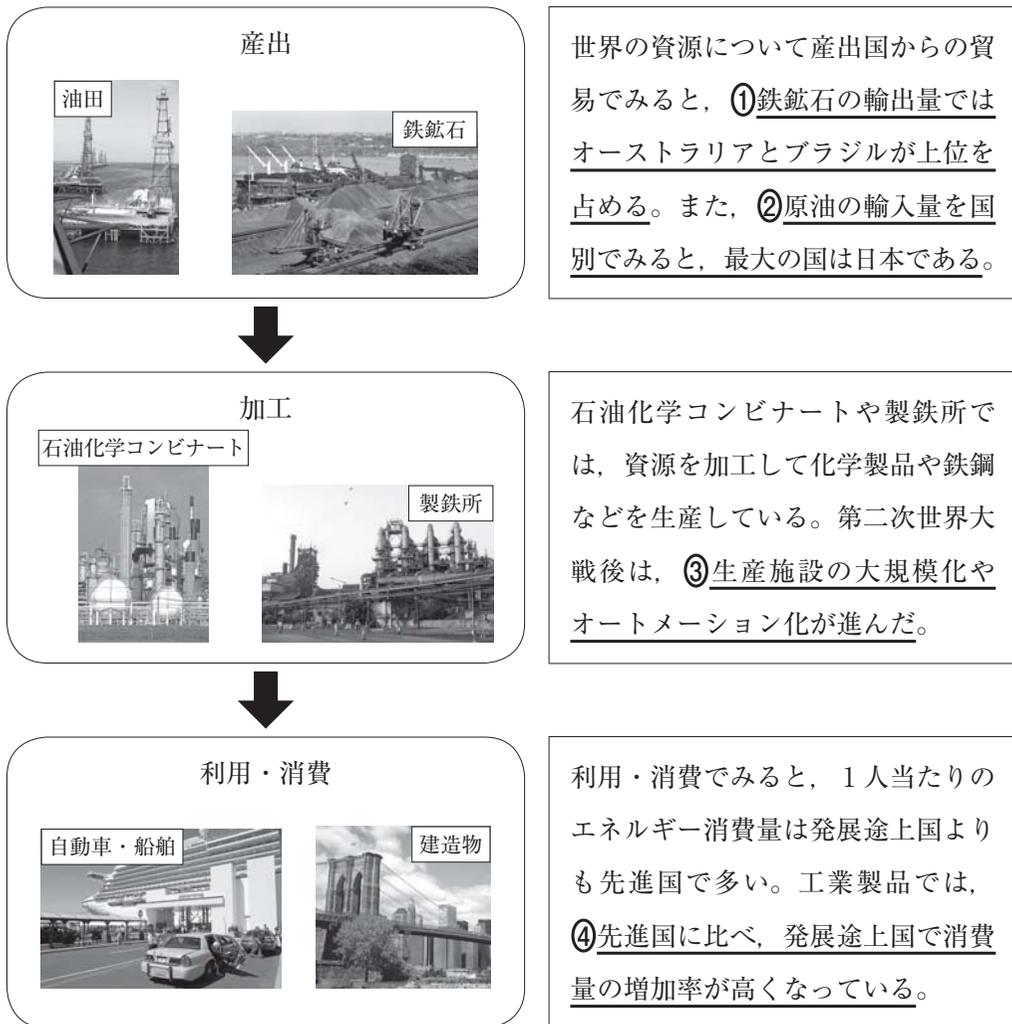
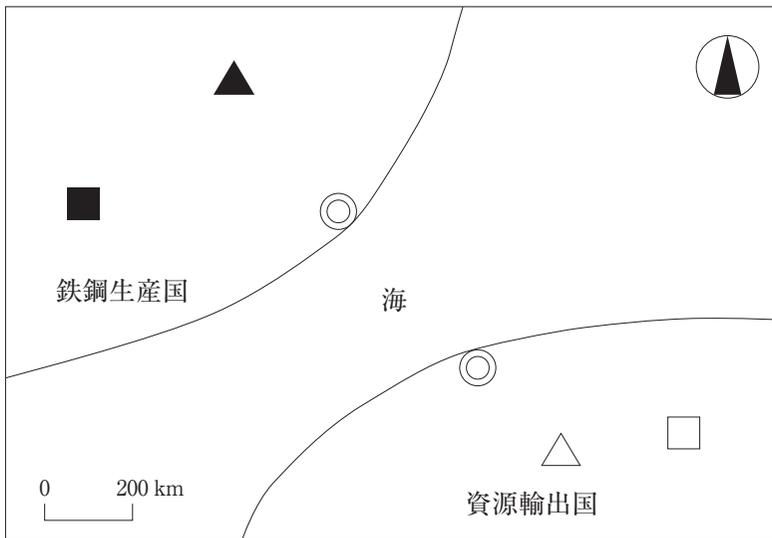


図 1

地理B

問 3 ㉔に関して、資源使用量の変化とともに製鉄所の立地は変化してきた。次の図 2 は、仮想の地域を示したものであり、下の枠は地図中の凡例および仮想の条件である。このとき、次ページの図 3 中のア～ウは、1900 年前後、1960 年前後、2000 年前後のいずれかにおける鉄鋼生産国の製鉄所の立地場所を示したものである。輸送費の観点から年代順で立地の変化を考えたとき、年代とア～ウとの正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。ただし、地図で示されていない自然環境や社会環境は条件として考慮しない。

9



< 凡例および仮想の条件 >

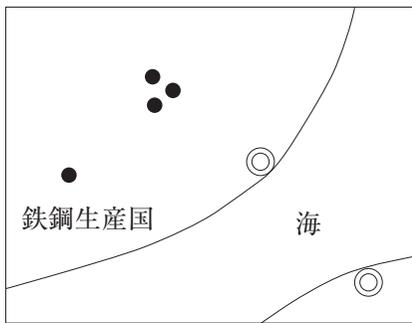
- ・ ■石炭，▲鉄鉱石・・・坑道掘り
- ・ □石炭，△鉄鉱石・・・露天掘り
- ・ 図中の◎は貿易港をもつ都市を示している。
- ・ 1970 年代以降、坑道掘りは産出量が減少する一方、露天掘りは産出量が増加して、図中の南東側の国が資源輸出国となったとする。
- ・ 次ページの表 2 は、鉄鋼製品 1 トン当たりの石炭と鉄鉱石の使用量の推移を示している。

図 2

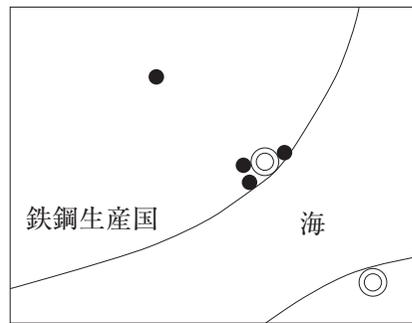
表 2 鉄鋼製品1トン当たりの石炭と鉄鉱石の使用量の推移

(単位：トン)

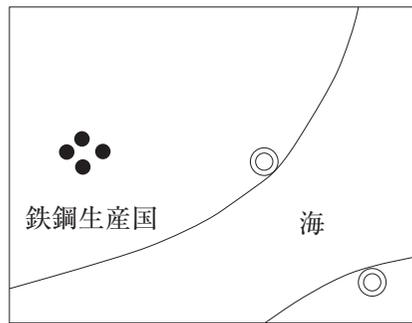
	1901年	1930年	1960年	1970年	2000年
石炭	4.0	1.5	1.0	0.8	0.8
鉄鉱石	2.0	1.6	1.6	1.6	1.5



ア



イ



ウ

● 製鉄所
○ 貿易港をもつ都市

図 3

	①	②	③	④	⑤	⑥
1900年前後	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
1960年前後	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
2000年前後	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

地理B

問 4 ㉔に関して、東アジア・東南アジアにおける発展途上国の工業化について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 10

- ① 各国・地域の工業化は、輸出指向型から、外国資本の導入による輸入代替型の工業化政策に路線を転換することで進んだ。
- ② 工業化にともなって、先進国との貿易が増加して、東アジア・東南アジア域内の貿易額が減少した。
- ③ 中国の重化学工業化は、都市人口の増加を抑制し、国内の沿岸部と内陸部との地域間経済格差を緩和した。
- ④ 東南アジアの自動車工業は、原材料から最終製品までの生産において、国境を越えた工程間の分業によって発展した。

問 5 ㉔に関して、次の表 3 中のカ～クは、水力、地熱、バイオマスのいずれかの発電量上位 5 か国を示したものである。カ～クと再生可能エネルギー名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 11

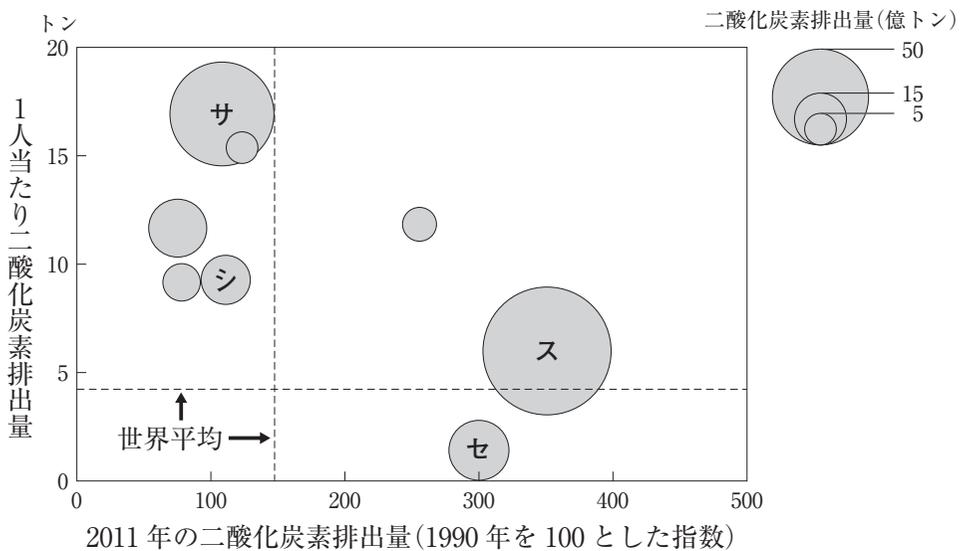
表 3

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
カ	アメリカ合衆国	フィリピン	インドネシア	ニュージーランド	メキシコ
キ	アメリカ合衆国	中国	ドイツ	ブラジル	日本
ク	中国	ブラジル	カナダ	アメリカ合衆国	ロシア

中国には、台湾、ホンコン、マカオを含まない。統計年次は、水力とバイオマスが 2016 年、地熱が 2014 年。『自然エネルギー世界白書 2017』などにより作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	水力	水力	地熱	地熱	バイオマス	バイオマス
キ	地熱	バイオマス	水力	バイオマス	水力	地熱
ク	バイオマス	地熱	バイオマス	水力	地熱	水力

問 6 ㉔に関して、次の図4は、二酸化炭素排出量の世界上位8か国について、1人当たり二酸化炭素排出量と、1990年を100とした指数で2011年の二酸化炭素排出量を示したものであり、円の大きさはそれぞれの国の二酸化炭素排出量を示している。図4から考えられることがらとその背景について述べた文として適当でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 12



統計年次は、各国の二酸化炭素排出量と1人当たり二酸化炭素排出量が2011年。『世界国勢図会』などにより作成。

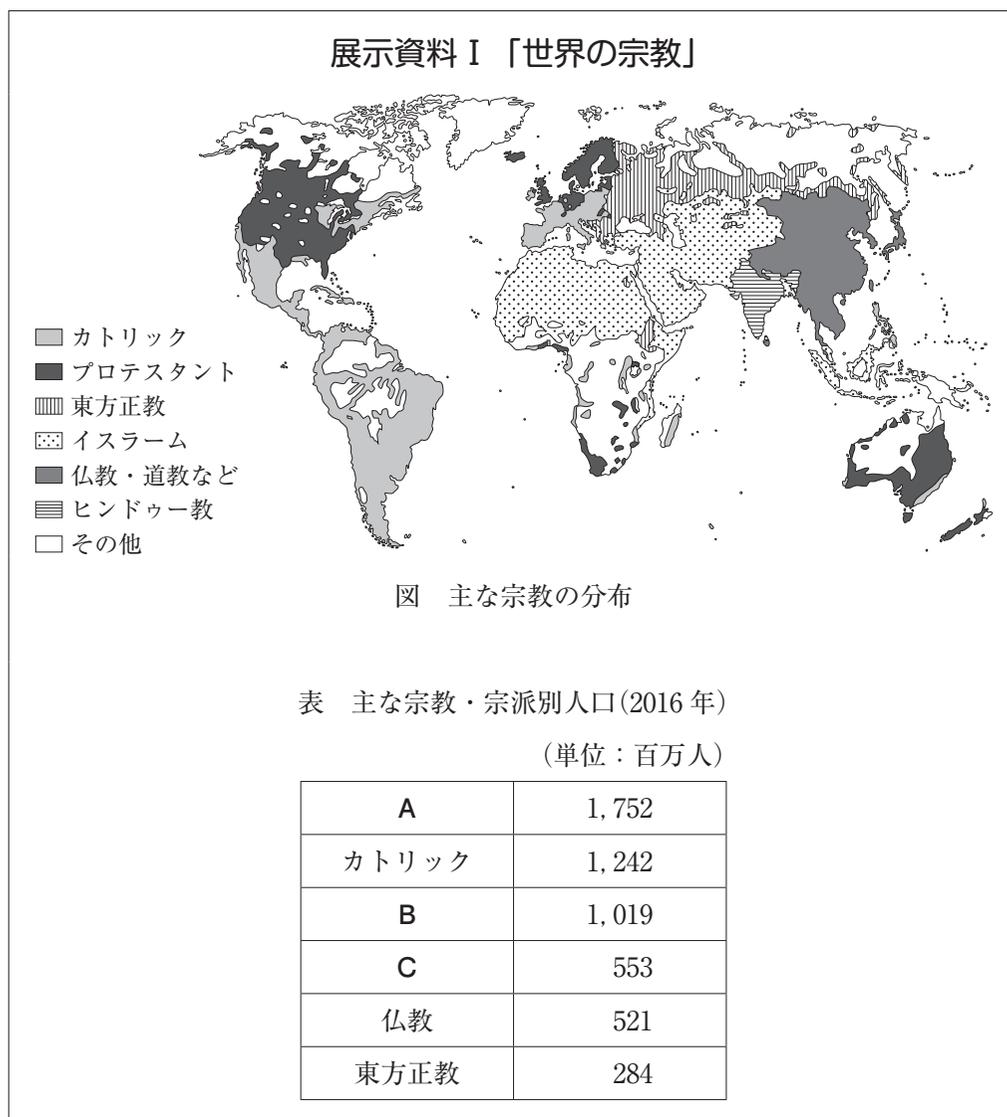
図 4

- ① サは、環境問題への対策が遅れており、1人当たり二酸化炭素排出量が8か国の中で最大となっている。
- ② スは、急速な工業化によって、1人当たり二酸化炭素排出量が増加している。
- ③ サとシは、再生可能エネルギーや電気自動車が普及すると、それぞれの円の位置が右上方向に移行する。
- ④ スとセは、今後も経済発展が進むと、世界全体の二酸化炭素排出量が大きく増加することが懸念されている。

地理B

第3問 高校生のミズホさんたちは、地理の授業で生活文化の多様性について学んだ。その学習の成果を学校の文化祭で他の生徒たちにも伝えるために、展示資料を作成することにした。展示資料Ⅰ～Ⅲに関する下の問い(問1～6)に答えよ。

(配点 20)



図は *Alexander Schultatlas* により作成。

表は *The World Almanac and Book of Facts* により作成。

地理B

問 1 ミズホさんたちは、世界の宗教の多様性を示すために、主な宗教の分布や人口について、展示資料 I にまとめた。展示資料 I の表中の A～C は、イスラーム、ヒンドゥー教、プロテスタントのいずれかである。A～C と宗教・宗派名との正しい組合せを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 13

	①	②	③	④	⑤	⑥
イスラーム	A	A	B	B	C	C
ヒンドゥー教	B	C	A	C	A	B
プロテスタント	C	B	C	A	B	A

問 2 次にミズホさんたちは、世界の宗教がどのようにして現在のような分布になったのか、各宗教が伝播する経路を展示資料 I の図中に書き込むことにした。それについて話し合った会話文中の下線部①～④のうちから、**適当でないもの**を一つ選べ。 14

ミズホ 「世界各地の宗教のなかでも、キリスト教とイスラームと仏教は世界各地に広く分布しているね」

アズサ 「①キリスト教はヨーロッパの人々が他の大陸へ入植したり、植民地支配を進めたりしたことで広まったのではないかな」

ツバサ 「同じキリスト教でも、②東方正教はゲルマン語派の言語を話す国々を中心に伝わっていったようだね」

ミズホ 「③イスラームは交易や領土の拡大によってアラビア半島から北アフリカに伝わったと考えられるよ。その後は中央アジアや東南アジアにも拡大しているね」

アズサ 「インドで生まれた仏教は、中国を經由して東アジアへ伝わった経路のほかに、④南アジアから東南アジアへ伝わった経路があるんじゃないかな」

地理B

展示資料Ⅱ「生活文化と自然環境」

表 各地域の伝統的な衣服と家屋

	伝統的な衣服	伝統的な家屋
ア地域	丈夫で加工しやすい毛織物を使った衣服	石灰岩などの加工しやすい石を利用した石積みの家屋
イ地域	狩猟で得た獣皮を裁断・縫製した衣服	豊富にある木材を加工して組立てられた木造家屋
ウ地域	放熱性に優れた麻や木綿を素材とする衣服	①土を素材とした日干しレンガ積みなどの家屋

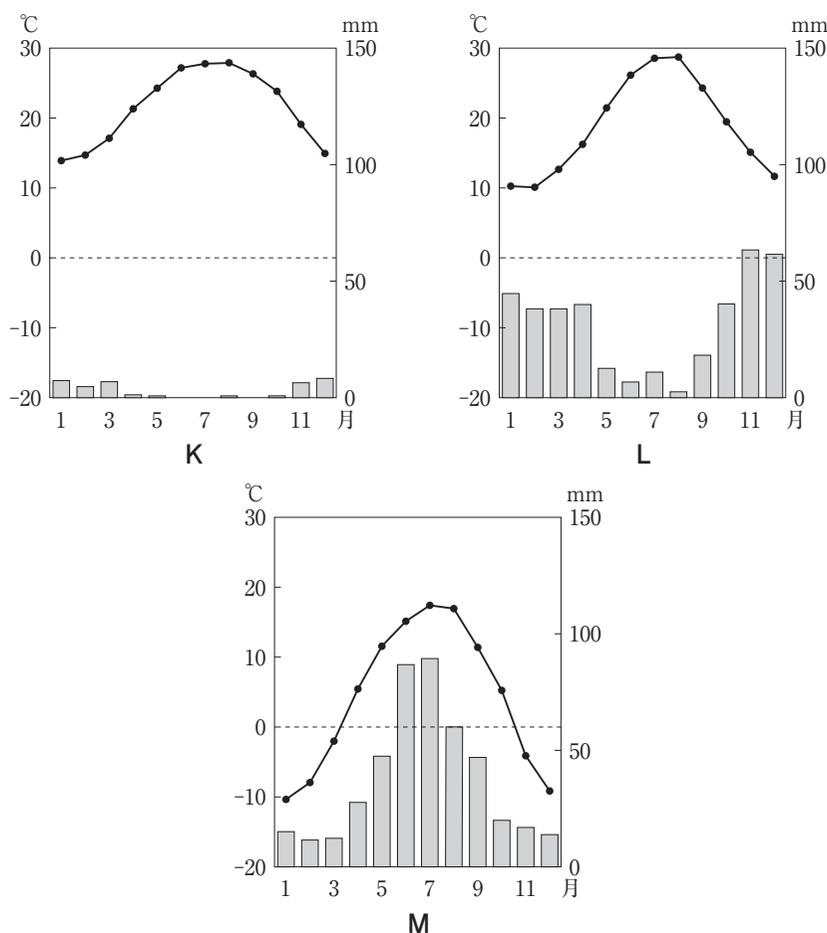


図 各地域に位置する都市の雨温図

図は『理科年表』により作成。

問 3 ミズホさんたちは、生活文化の多様性が自然環境と関係していることを明らかにするために、気候に特色がある地域別に伝統的な衣服と家屋について調べ、展示資料Ⅱをまとめた。展示資料Ⅱの図中のK～Mは、表中のア～ウの地域に位置する都市の雨温図を示したものである。K～Mとア～ウとの正しい組合せを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 15

	①	②	③	④	⑤	⑥
K	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
L	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
M	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 4 次にミズホさんたちは、生活文化と自然環境の関係を個別の事例で説明するために、各地域の伝統的家屋を説明するカードを作成した。次のカードは展示資料Ⅱの表中の下線部㉓に関するものである。写真を説明した文として最も適当なものを、カード中の①～④のうちから一つ選べ。 16

① 強い日差しを避けるために窓は小さくなっている

② 集落内の風通しを良くするために屋根は平らになっている



③ 病虫害や疫病を防ぐために家屋が密集して建てられている

④ 季節風を避けるために樹木が植えられている

展示資料Ⅲ「食文化の多様性」

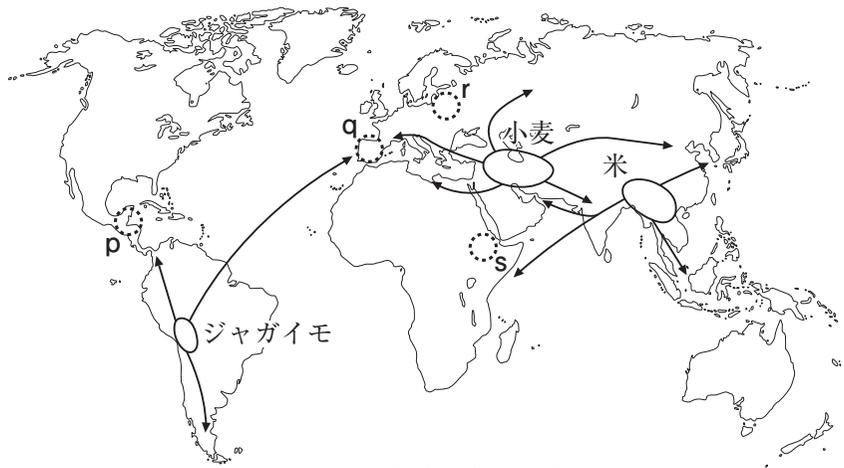


図 主な作物の伝播経路

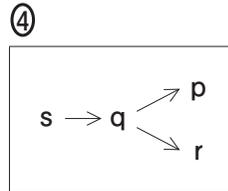
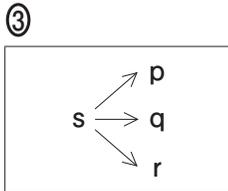
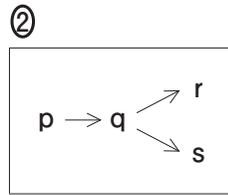
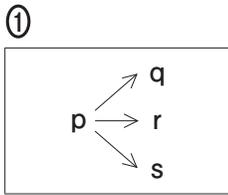
表 伝播経路および主食とする地域

作物	特徴
小麦	西アジアで栽培化され、ヨーロッパから中国にかけて伝わり、ヨーロッパ人が進出した地域にも広まった。
米	東は東南アジアから東アジア、西は南アジアまで伝わり、アジアでは広く主食とされている。
ジャガイモ	原産地の南アメリカからヨーロッパに持ち込まれ、現在でも南アメリカでは主食となっている地域がある。
トムモロコシ	・原産地はどこで、どのように伝播したか？(作成中) ・主食となっている地域はどこか？(作成中)

図は星川清親『栽培植物の起原と伝播』などにより作成。

問 5 ミズホさんたちは、生活文化のなかでも食文化の多様性に着目して、展示資料Ⅲをまとめることにした。展示資料Ⅲの図と表は、小麦、米、ジャガイモの伝播経路および主食とする地域を示したものであり、図中のp～sは、作成中のトムモロコシの原産地または伝播した地域を示している。トムモロコシの伝播経路を表した模式図として最も適当なものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。

17



問 6 ミズホさんたちが文化祭で展示資料Ⅲについて説明していると、他の生徒から質問があった。次の会話文中の空欄カとキに当てはまる文の正しい組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 18

他の生徒 「世界の食文化は多様というけれど、最近は欧米諸国の文化が世界中に広がって、食文化はどんどん画一化されていってるんじゃないかな」

ミズホ 「確かに画一化している面もあるね。日本でも カ しているね」

他の生徒 「日本での食文化の画一化について、何か説明できるデータはないかな」

アズサ 「例えば キ を比較してみたらどうだろう」

ツバサ 「長い期間の推移をグラフにしてみる必要があるそうだね」

T フランス料理店やスペイン料理店など各国の料理を提供する店が立地

U アメリカ合衆国の巨大企業が全国各地でハンバーガーショップを展開

X 日本と欧米諸国の1人当たりカロリー摂取量とその内訳

Y 日本と欧米諸国の農産物輸出額とその内訳

① カー T キー X

② カー T キー Y

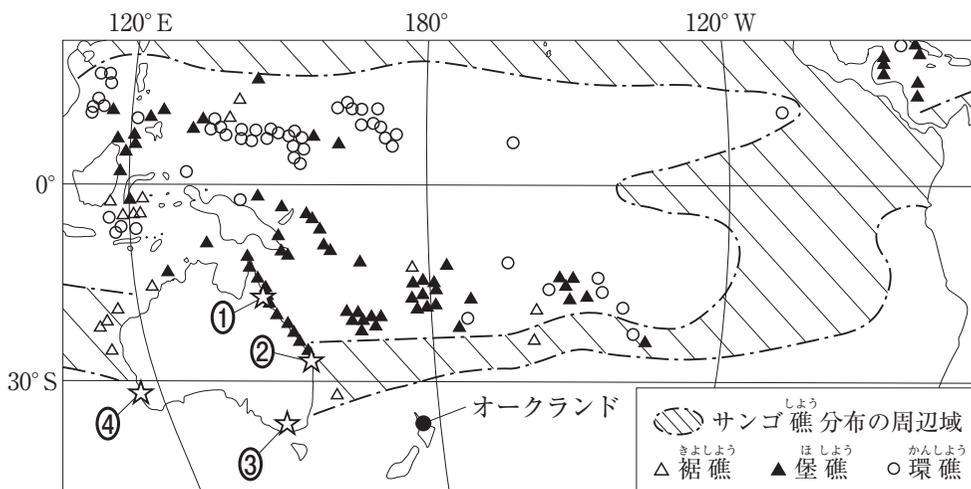
③ カー U キー X

④ カー U キー Y

地理B

第4問 オセアニアに関する下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 20)

問1 ケッペンの気候区分で、次の図1中のオークランドと同じ気候区に含まれるオーストラリアの都市を、図1中の①～④のうちから一つ選べ。 19



堀(1990)により作成。

図 1

問2 上の図1は、オーストラリアから南太平洋にかけてのサンゴ礁の分布を示しており、次のA～Cは図1からの読み取りを、次ページのe～gはA～Cのいずれかに関連することがらを述べた文である。堡礁について当てはまる、図の読み取りと関連することがらとの適当な組合せを、次ページの①～⑨のうちから二つ選べ。ただし、解答の順序は問わない。 20 ・ 21

【図の読み取り】

- A オーストラリア大陸の東岸に多くみられる。
- B サンゴ礁分布の周辺域に多く分布する。
- C 南アメリカ大陸の西岸には分布しない。

【関連することがら】

- e 寒流や湧昇流ゆうしょうりゅうにより海水温が相対的に低い。
- f 現在の間氷期が始まり、海水温が上昇してから、サンゴ礁が形成可能になった。
- g 世界自然遺産のグレートバリアリーフを構成している。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
図の読み取り	A	A	A	B	B	B	C	C	C
関連することがら	e	f	g	e	f	g	e	f	g

問 3 次の写真 1 は、太平洋島嶼国のサモアにおける伝統的な農村風景を撮影したものである。写真 1 に関連することがらについて述べた下の文章中の空欄アとイに当てはまる語の正しい組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 22



K



L

写真 1

サモアは一年中暑く湿度が高いため、Kのような(ア)住居が数多くみられる。また、サモアの農村部に暮らす人々は自給自足に近い生活を送っており、Lのように、住居の周囲でココヤシなどとともに主食である(イ)を栽培している。しかし、近年は海外からの影響を受けて、伝統的な生活習慣や豊かな自然環境が変化しつつあり、持続可能な開発が課題である。

	①	②	③	④
ア	風通しの良い	風通しの良い	移動式の	移動式の
イ	タロイモ	バナナ	タロイモ	バナナ

地理B

問 4 下の表 1 は、次の図 2 中の太平洋島嶼国の旧宗主国または国際連合の信託統治の旧施政権国を示したものである。また、次ページの図 3 は、太平洋島嶼国に対するいくつかの国からの ODA(政府開発援助)供与額を示したものであり、カ〜クはアメリカ合衆国、オーストラリア、日本のいずれかである。国名とカ〜クとの正しい組合せを、次ページの①〜⑥のうちから一つ選べ。

23

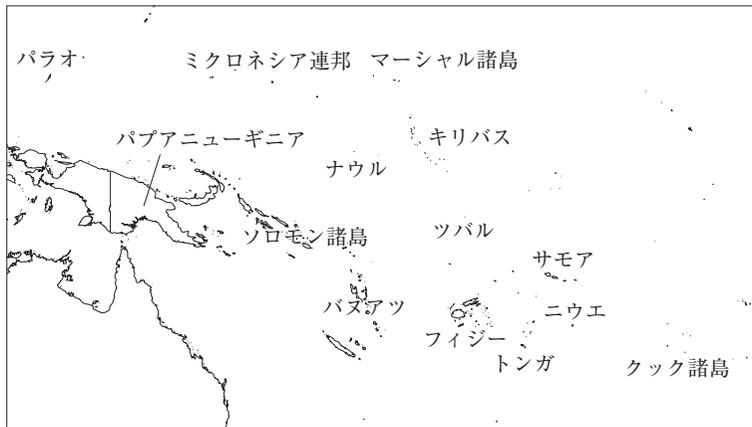
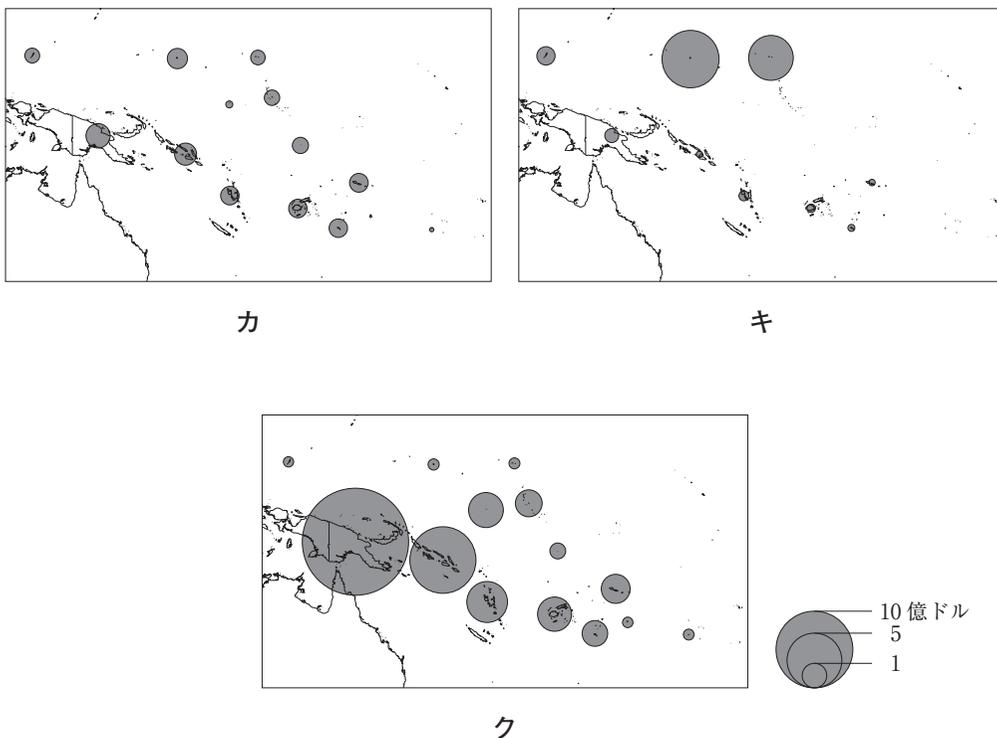


図 2

表 1

旧宗主国または 国際連合信託統治の旧施政権国	太平洋島嶼国
アメリカ合衆国	マーシャル諸島, ミクロネシア連邦, パラオ
イギリス	トンガ, フィジー, ソロモン諸島, ツバル, キリバス
オーストラリア	パプアニューギニア
ニュージーランド	サモア, クック諸島, ニウエ
2国(イギリス・フランス)	バヌアツ
3国(イギリス・オーストラリア・ ニュージーランド)	ナウル



統計年次は 2011～2015 年の合計。
OECD の資料などにより作成。

図 3

	①	②	③	④	⑤	⑥
アメリカ合衆国	カ	カ	キ	キ	ク	ク
オーストラリア	キ	ク	カ	ク	カ	キ
日本	ク	キ	ク	カ	キ	カ

地理B

問 5 ニュージーランドとカナダは、太平洋を挟んで1万 km 以上も離れているが、その歴史、社会、生活文化などには共通点も多い。次の表 2 は、1985 年と 2015 年におけるニュージーランドとカナダへの移民数が多い上位 5 位までの送出国を示したものである。また、下の文章は、表 2 の読み取りとそれに関連することがらについて述べたものであり、文章中の空欄 P～R には次ページのサ～スの文のいずれかが当てはまる。空欄 P～R とサ～スとの正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 24

表 2

順位	ニュージーランド		カナダ	
	1985 年	2015 年	1985 年	2015 年
1 位	オーストラリア	オーストラリア	ベトナム	フィリピン
2 位	イギリス	イギリス	ホンコン	インド
3 位	アメリカ合衆国	インド	アメリカ合衆国	中国
4 位	サモア	中国	イギリス	イラン
5 位	カナダ	フィリピン	インド	パキスタン

中国には、台湾、ホンコン、マカオを含まない。
ニュージーランド統計局の資料などにより作成。

移民の受入国となるニュージーランドとカナダでは、言語が共通する国からの移民が多い。1985 年をみると、ニュージーランドでオーストラリアやサモアから、カナダでアメリカ合衆国から移民が多いのは、P ことが影響している。2015 年には、ニュージーランドとカナダとで共通する国からの移民が急激に増加しており、これは Q ためである。その一方で、R ために、2015 年の移民数の送出国別順位にニュージーランドとカナダで違いがみられる。

- サ 受入国での難民に対する政策が異なる
- シ 経済発展した送出国との結びつきが強まった
- ス 送出国と受入国とが地理的に近接している

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	サ	サ	シ	シ	ス	ス
Q	シ	ス	サ	ス	サ	シ
R	ス	シ	ス	サ	シ	サ

問 6 2国間での人口移動には、送出国と受入国のそれぞれの国内における状況も影響する。次の図4は、オーストラリア・ニュージーランドと太平洋島嶼国との間の人口移動を引き起こす要因について、送出国と受入国とでまとめたものである。送出国と受入国とにおける人口移動の要因として**適当でないもの**を、図4中の①～⑧のうちから二つ選べ。ただし、解答の順序は問わない。

25 ・ 26

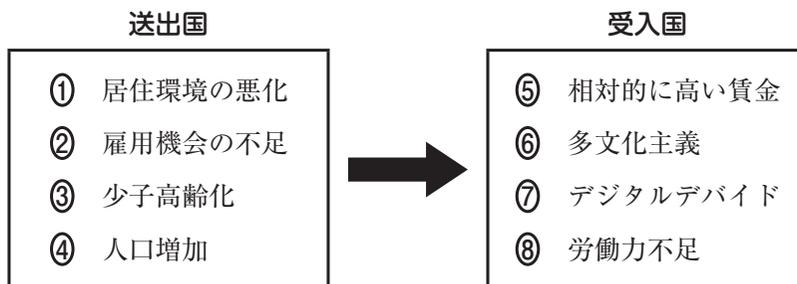
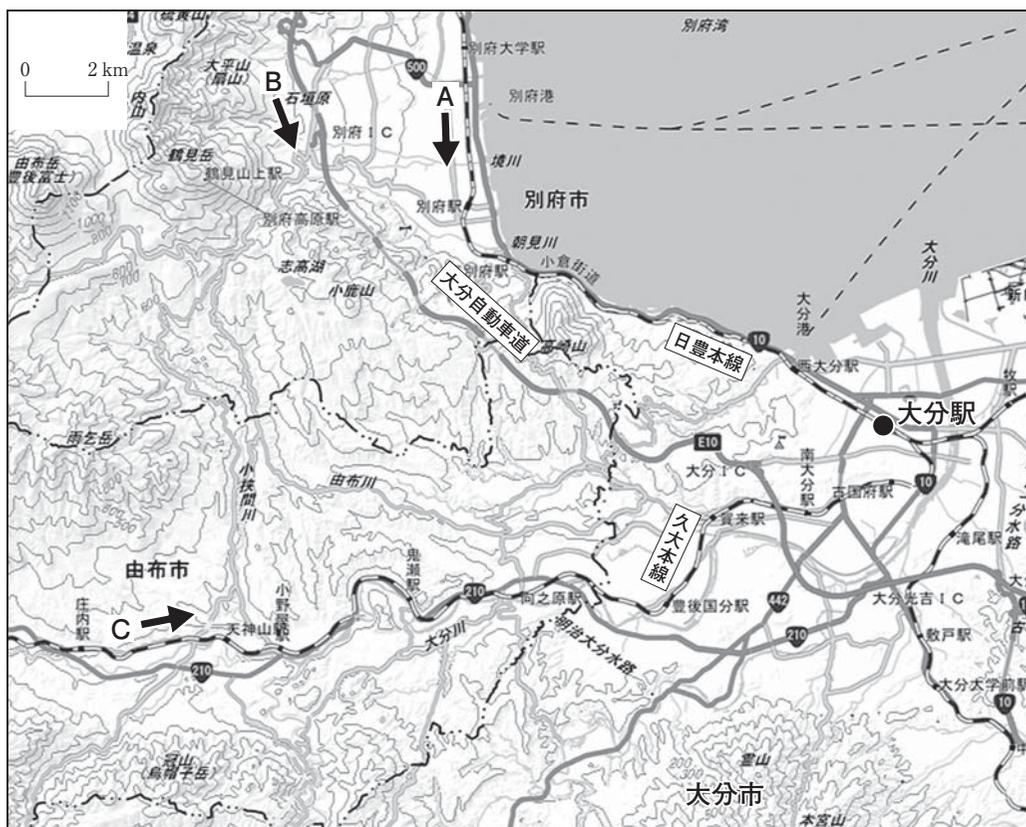


図 4

地理B

第5問 高校生のリョウさんは、大分県大分市の大学に進学した姉のサツキさんを訪問して、大分市と別府^{べつぷ}市を中心とした地域の調査を行った。この地域調査に関する下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 20)

問1 リョウさんは、次の図1を参考に大分駅に行く経路を考えた。図1中のA～Cは、リョウさんが候補とした経路を示したものであり、Aは日豊本線の列車^{につぼう}を、Bは大分自動車道を通り大分駅前へ行く高速バスを、Cは久大本線の列車^{きゆうだい}を、それぞれ使う経路である。また、次ページのア～ウの文は、それぞれの経路の様子について、リョウさんが図1から読み取った内容である。A～Cとア～ウとの正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 27



地理院地図により作成。

図 1

- ア この経路では、大分市に入ると進行方向右側に山が迫るだろう。
- イ この経路では、大分市に入るまで国道沿いの谷を通ることが多いだろう。
- ウ この経路では、大分市に入るまで標高の高い山麓を通ることが多いだろう。

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
B	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
C	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 2 大分市の駅前商店街の観察から景観変化に関心をもったリョウさんは、新旧の地図を比較することにした。次ページの図2は、大分市中心部における1930年に発行された2万5千分の1地形図(原寸、一部改変)と、これとほぼ同じ範囲の2018年の地理院地図である。図2から読み取れるこの地域の変化を述べた次の会話文中の下線部①～④のうちから、**適当でないものを一つ**選べ。

28

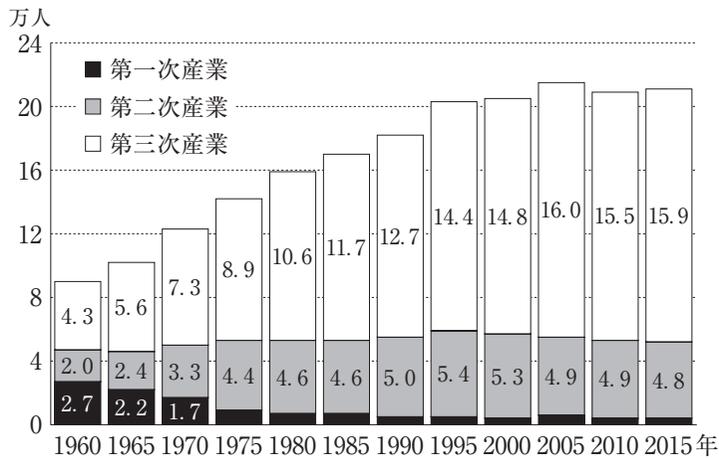
- サツキ 「昔の大分市中心部の地形図を、大学の地理の先生からもらってきたよ。インターネットから出力した現在の地図と比べてみよう。大分駅前から北へ延びる大通りには、かつては①駅前から市街地中心部や海岸線に伸びる路面電車があったんだね。今もあったら便利だろうね」
- リョウ 「路面電車は近年見直されてきているよね。海からの玄関口である②フェリー発着所は、昔は『師範校』だったんだ」
- サツキ 「西側の山麓には、『歩四七*』や『^{れんべいじょう}練兵場』などの表記から分かるように、軍用地があったんだね。③現在では一部は学校用地などになっているのかな。大分城の北東に広がる④区画整理された地区も、今では宅地化しているね」
- リョウ 「地図を見比べて確認しながら、もっと大分の街を歩いてみたいね」
- *歩四七は、歩兵第47連隊を省略して示したものである。



図 2

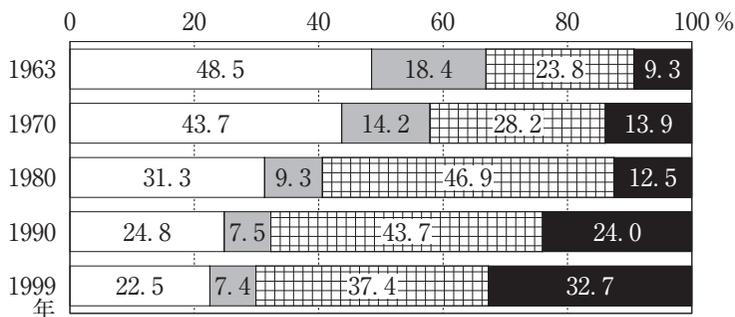
問 3 臨海部の工業地帯を地図でみたりョウさんは、大分市の産業変化に関する論文や統計データをインターネットで調べ、市の発展が「新産業都市*」指定の影響を受けたことを知った。次の図3は大分市の産業別就業者数の推移を、図4は大分市の工業種別従業者数の割合の推移を、それぞれ示したものである。図3と図4から読み取れることがらをリョウさんがまとめた次ページの文章中の下線部①～④のうちから、**適当でないもの**を一つ選べ。 29

*重化学工業などを育成し地域開発の拠点とした地域。



「分類不能」を除く。国勢調査などにより作成。

図 3



□ 軽工業 ■ 地場資源型素材工業 田 臨海型素材工業 ■ 機械工業

「地場資源型素材工業」はパルプ・紙，土石等を，「臨海型素材工業」は鉄鋼や金属，化学工業を示す。

宮町(2004)により作成。

図 4

地理B

【リョウさんがまとめた文章】

1963年には当時の地方工業として典型的であった①軽工業と地場資源型素材工業が全業種の約3分の2を占めていたが、1964年に新産業都市に指定され臨海部の大規模な埋め立てが進むと、②臨海型素材工業の拡大とともに第二次産業人口は増加した。その後、1980年から90年代末にかけて、③機械工業の大幅な伸びに支えられ、第二次産業人口割合も拡大した。工業都市としての成長を背景に大分市の人口も伸び、④1960年に全体の5割に満たなかった第三次産業人口は2015年には7割を超えるようになった。

問 4 大分市で多くの保育所待機児童*が報告されていることを知ったリョウさんは、「なぜ大分市で保育所不足が生じたのだろう」という問いをもち、いくつかの資料をみながらサツキさんと仮説を立てた。次の図5は、リョウさんとサツキさんが考えた仮説を示しており、図中の資料D～Fには、**仮説を考えたものとなった資料**として、次ページの図6中のカ～クがそれぞれ当てはまる。D～Fとカ～クとの組合せとして最も適当なものを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 30

*保育所への入所を希望して入所できない児童のうち、一定の基準を満たす者。

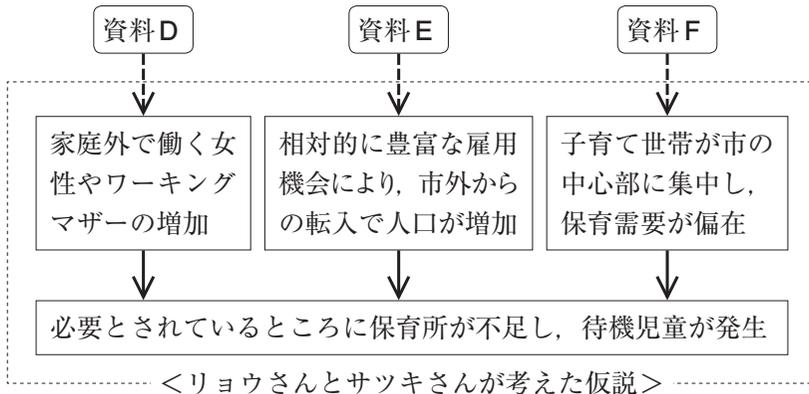
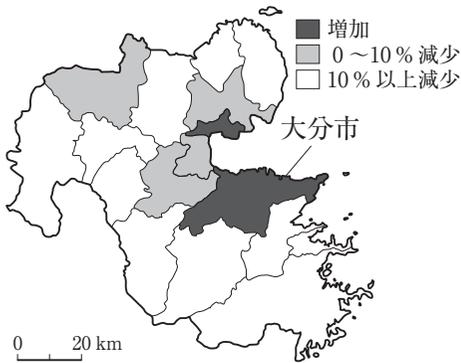
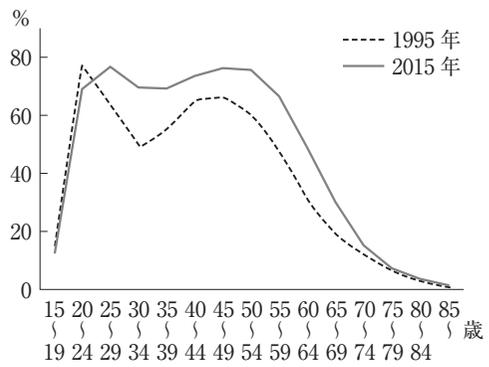


図 5



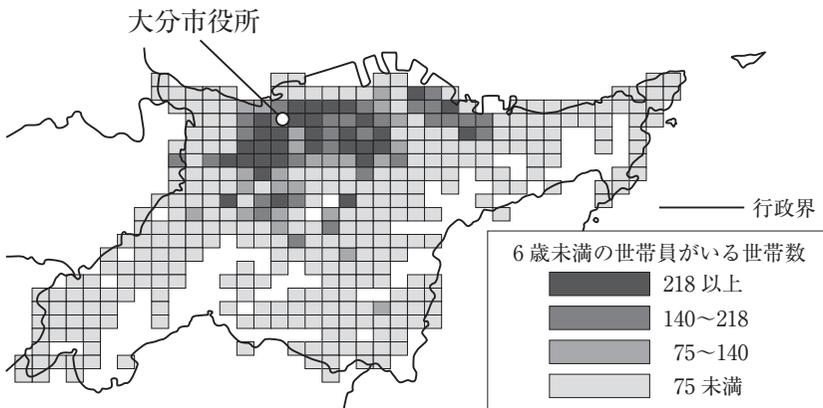
大分県内の人口増減率
(1995～2015年)
行政界は2015年時点。
国勢調査により作成。



大分市の女性の年齢階級別労働力率
(1995年・2015年)
国勢調査により作成。

カ

キ



6歳未満の世帯員がいる世帯数の1 km メッシュマップ(2015年)
メッシュのない範囲はデータなし。
国土地理院の資料により作成。

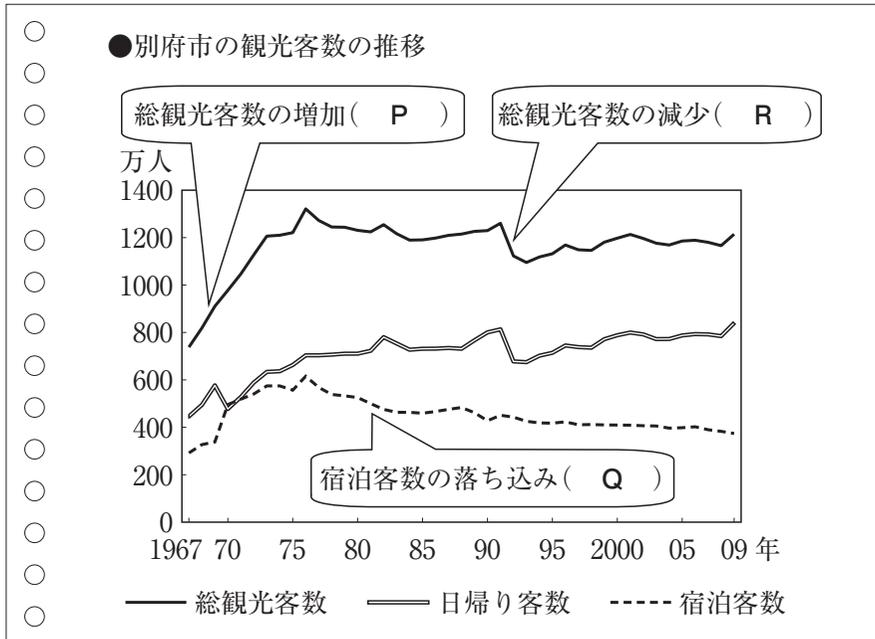
ク

図 6

	①	②	③	④	⑤	⑥
D	カ	カ	キ	キ	ク	ク
E	キ	ク	カ	ク	カ	キ
F	ク	キ	ク	カ	キ	カ

地理B

問 5 別府市の観光案内所に立ち寄ったリョウさんは、別府温泉が長い歴史をもつ観光地であることを知った。次の図7は、リョウさんが得た資料から作成したレポートの一部であり、図7中の空欄P～Rには観光客数の増減に関する背景として、下のサ～スのいずれかの文が当てはまる。P～Rとサ～スとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 31



調査方法が変更されたため2010年以降の値は示していない。
別府市『観光動態要覧』により作成。

図 7

- サ 国民所得の向上と全国的なレジャーブーム
- シ 石油危機による低成長への転換や、交通網の整備
- ス 日本経済における急激な景気の悪化

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	サ	サ	シ	シ	ス	ス
Q	シ	ス	サ	ス	サ	シ
R	ス	シ	ス	サ	シ	サ

地理B

問 6 リョウさんとサツキさんは、観光やまちづくりを目指して、様々な取組みが行われていることを話し合った。次の会話文中の空欄タに入る国名と、チに入る具体的な取組みを述べた下のXまたはYの文との組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 32

リョウ 「街中で外国からの観光客の姿を多く見かけたね」

サツキ 「大分県には温泉観光資源が多く、2015年には海外から大分県に年間約56万人の宿泊観光客が訪れているよ。近年は歴史的、地理的なつながりの深い(タ)から来る人たちが56%と最も多いよ。大分県をはじめ九州では、外国人観光客の割合が高いことが特徴だね」

リョウ 「これからの観光に向けて、どんな取組みが行われているのかな」

サツキ 「大分にとどまらず、日本各地で様々な取組みが進められているよ。例えば日本では、 チ にも取り組んでいるね。こうした取組みなどを進めながら、観光を通して定住人口の減少を交流人口の増加で補い、持続可能な地域の活性化を目指しているよ」

X 行政やサービスなど観光に関わる専門的な人材の育成

Y 観光客1人当たりの観光消費額の抑制

	①	②	③	④
タ	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国	韓国	韓国
チ	X	Y	X	Y

5 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

6 試験の進行方法について

- ① この試験は、前半と後半に分けて実施します。
- ② 前半に解答する科目を「第1解答科目」、後半に解答する科目を「第2解答科目」として取り扱います。解答する科目の順序は、各自で決めなさい。
- ③ 第1解答科目、第2解答科目ともに解答時間は60分です。60分で1科目だけを解答しなさい。
- ④ 第1解答科目の後に、答案を回収し、第2解答科目の解答用紙を配付する時間等を設けてありますが、休憩時間ではありませんので、**トイレ等で一時退室することはできません。**

注) 進行方法が分からない場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。

7 地理歴史及び公民の問題冊子は、2冊とも試験が終わるまでかばん等にはしまわずに、机の上に置いておきなさい。

8 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。